

EIDAI システムキッチン カップボード

取扱説明書

このたびは、システムキッチンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

システムキッチンを正しくお使いいただくために、ご使用になる前に本説明書をよく読んで正しくお使いください。

このシステムキッチンは、一般住宅用の製品ですので業務用には使用しないでください。お読みになったあとは必ず大切に保管してください。お客様がご購入いただいた製品以外の内容も含まれていますのであらかじめご了承ください。



保証書付

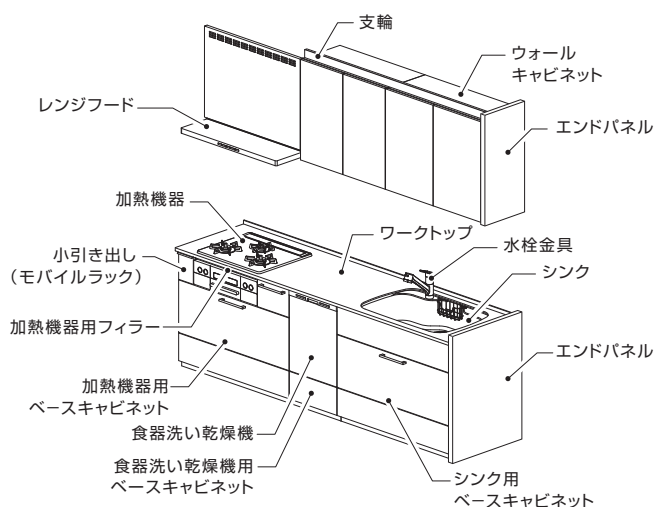
もくじ

- 1. キッチン各部の名称 2~4
- 2. 安全上のご注意 5~7
- 3. ワークトップ・カウンター..... 8~9
- 4. シンクまわり（シンク・排水トラップ）... 10~16
- 5. キャビネット（キャビネット・引き出し）... 17~21
- 6. 扉・パネル 22
- 7. ロック機構（オプション）..... 23~24
- 8. 引き出し連動ダストボックス「カクステ」
（オプション）..... 25
- 9. ダストボックスワゴン（オプション）... 25
- 10. 家電収納・多目的収納（オプション）..... 26
- 11. オイルガードパネル..... 27
- 12. キッチンパネル 27
- 13. 交換・調整方法 28~31
- 14. こんなときには?! 32
- 15. アフターサービス 33

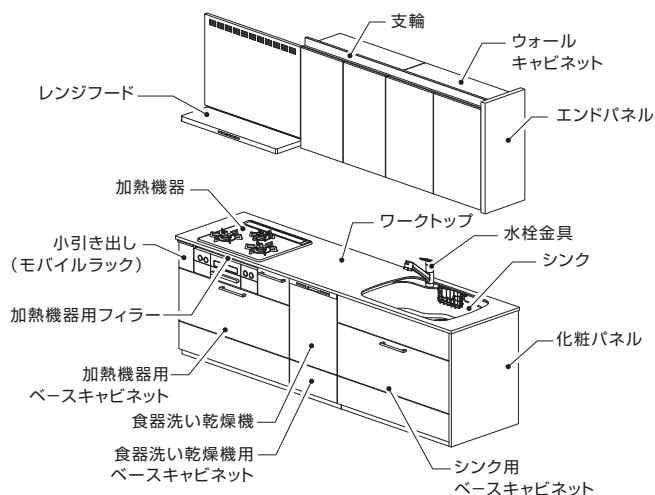
キッチン各部の名称

キッチン

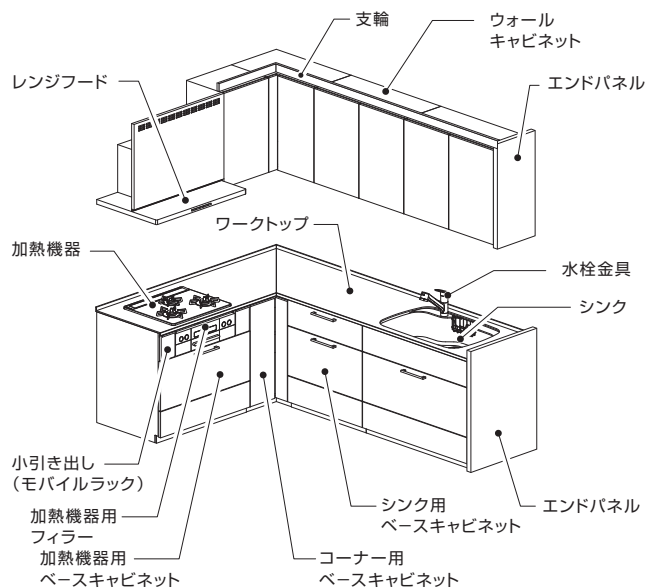
I型プラン(スタンダードスタイル)



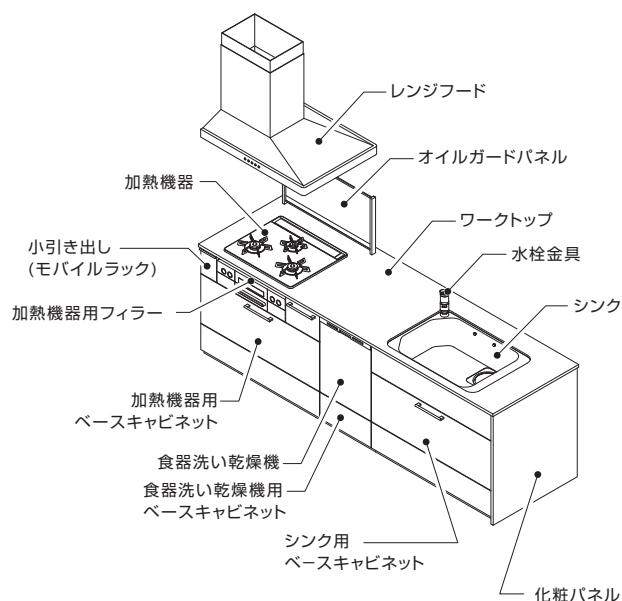
I型プラン(スクエアスタイル・キューブスタイル)



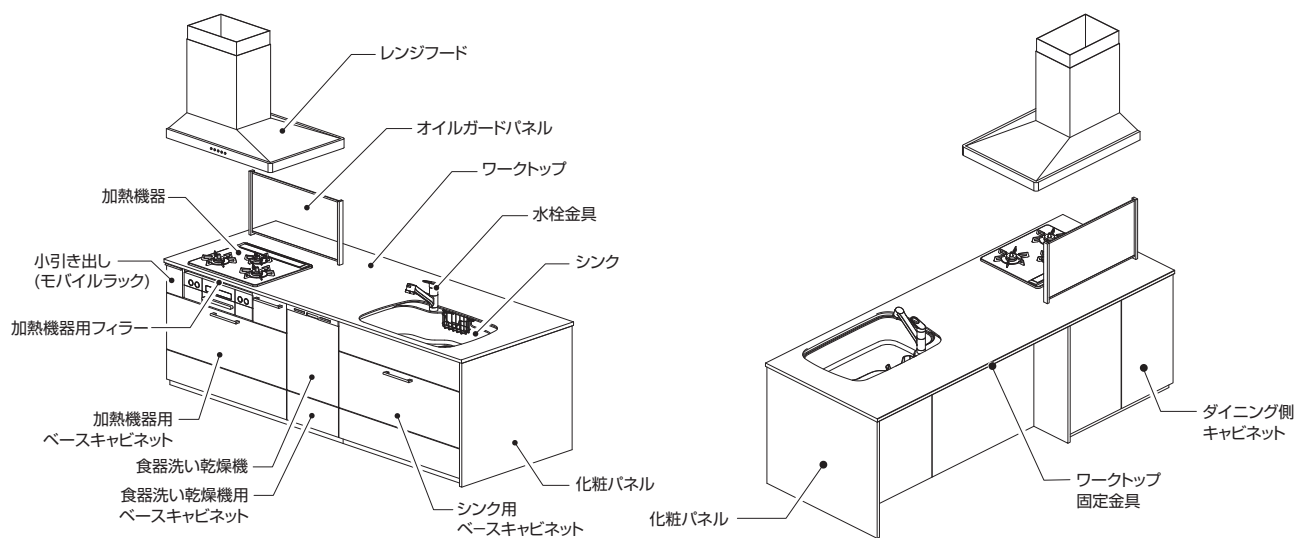
L型プラン



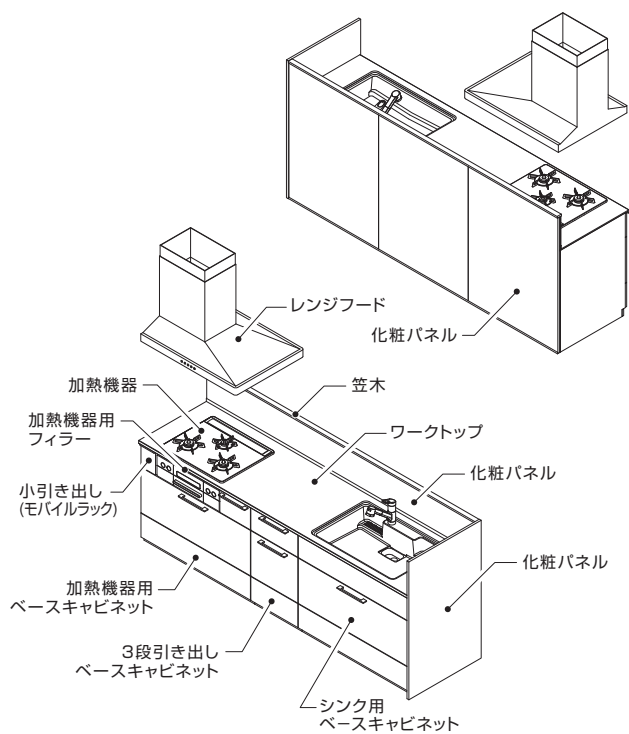
スリムペニンシュラ型 (D750タイプ)



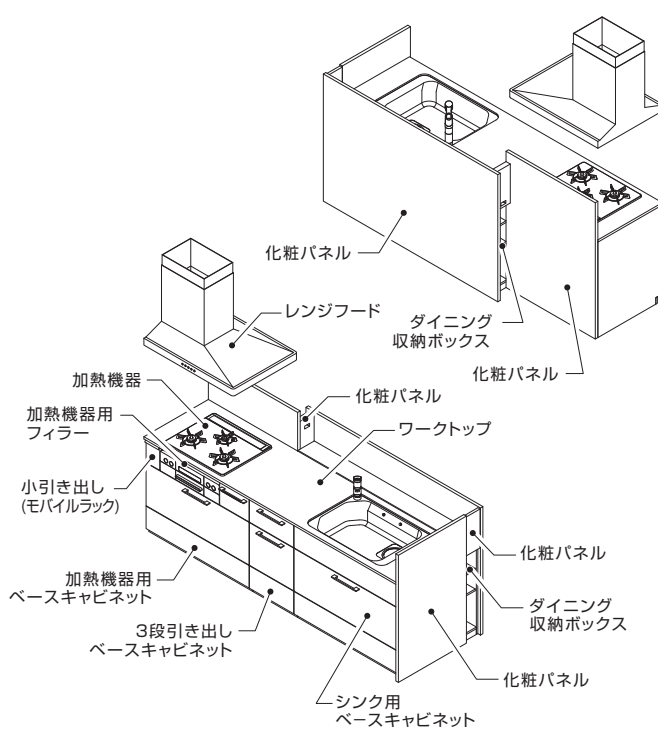
ペニンシュラ型 (D970タイプ)



パネル型対面プラン (スリムタイプ)

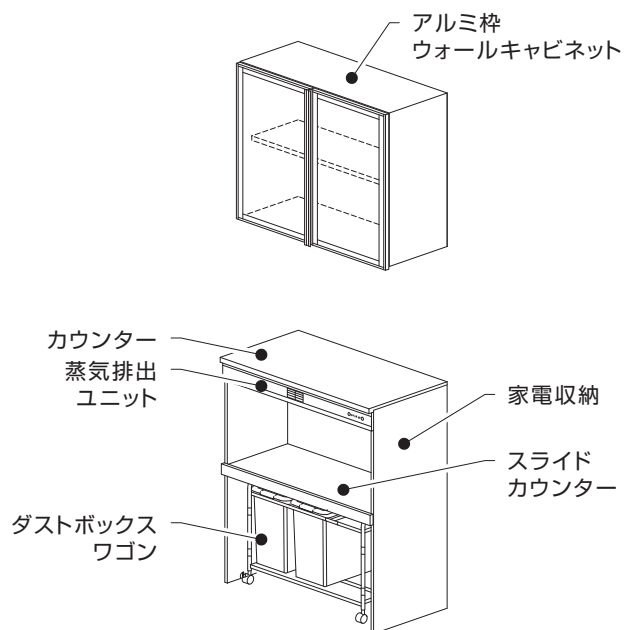


パネル型対面プラン (収納タイプ)

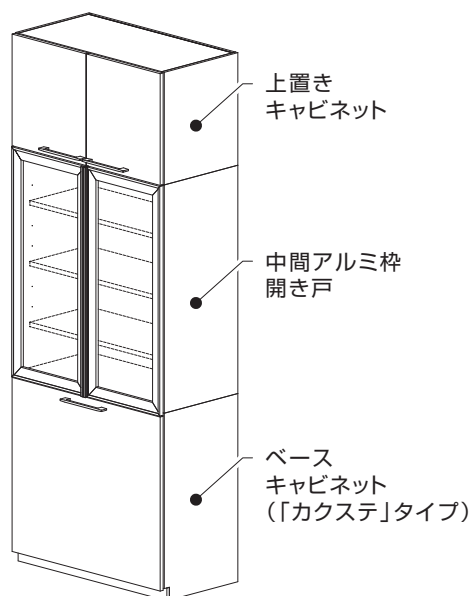


カップボード

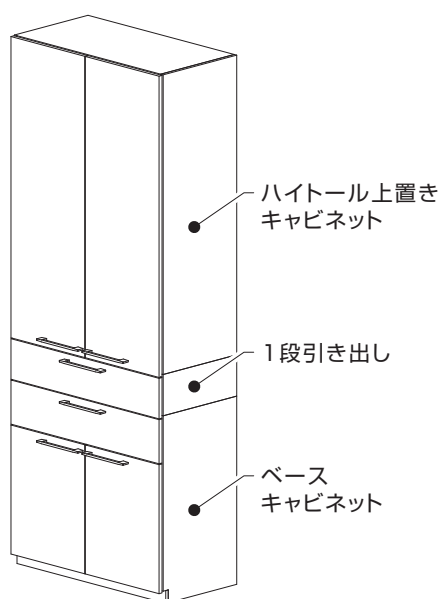
ハイカウンタータイプ



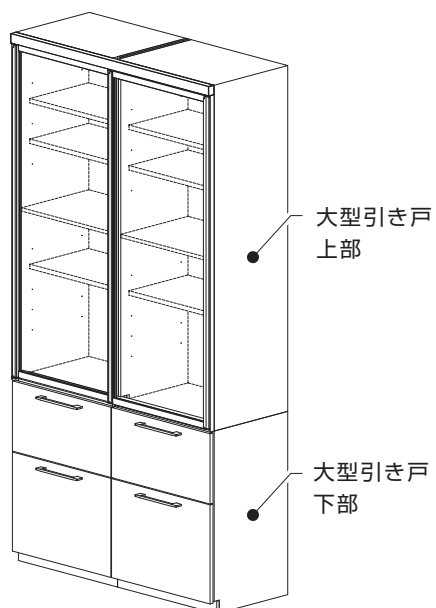
トールタイプ



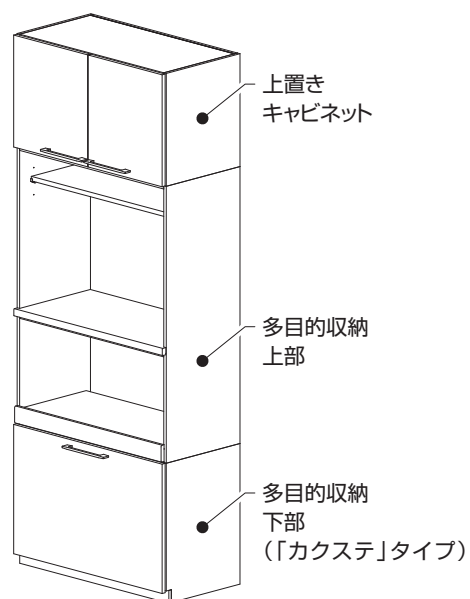
ハイトールタイプ



大型引き戸タイプ



多目的収納タイプ



■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。

 警告	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」をいう。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。

 この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。	 この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。
---	---

警告

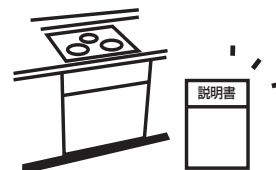
！ キッチンに組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの機器に添付されている取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。特に長期間不在にする場合は、ガスの元栓の確認などをしっかり行ってください。

IHクッキングヒーターでは材質や底の形状などによって、使える鍋と使えない鍋があります。

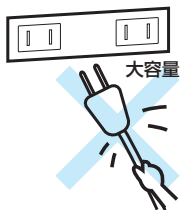
新しく購入するときは、財団法人「製品安全協会」のSGマーク   のある鍋、またはあっせん鍋をおすすめします。

※保証期間、内容についても各機器についている保証書をご確認ください。



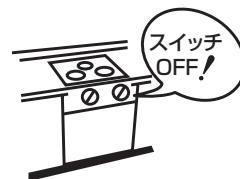
！ 電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具は使わないでください

たとえ配線などで容量をこえて使用すると電源コンセント部が発熱し、火災の恐れがあります。



！ 加熱機器の使用後やお出かけのときは、スイッチが「切」になっていることを確かめる

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。



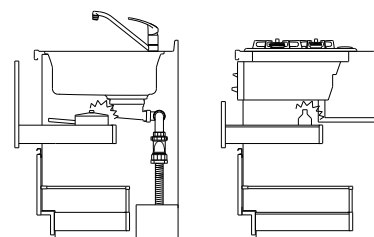
！ 加熱機器の上や周りには燃える物を絶対に置かない

スイッチの切り忘れなどにより着火し、の原因になることがあります。



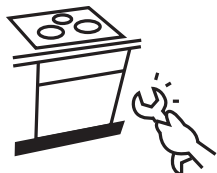
！ 引き出しに収納する際は、収納物がガス管や給排水の配管に干渉しないよう注意してください

収納物と配管が接触し、ガス漏れ・水漏れや破損の原因になります。



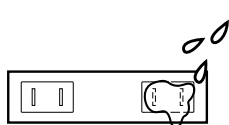
！ 絶対に分解・修理は行わない

ケガや故障、事故の原因となります。修理は購入店へご相談ください。



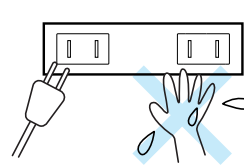
！ コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。



！ 濡れた手でコンセントや電源プラグに触れない

感電の恐れがあります。

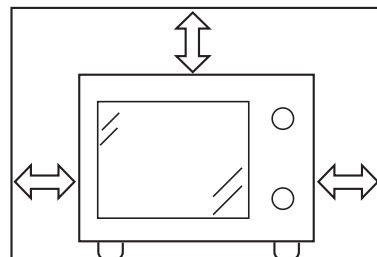


警告

電子レンジなどを置く場合は、天面、後面、両側面に器具指定の空間を設けてください。

離隔距離がないと、給排気が充分にできず、加熱して発火する恐れや故障の原因になります。
それぞれの機器に添付されている取扱説明書および本体の注意表示を必ずご覧ください。

離隔距離を充分取ってください。



カウンターをしまう際は、電源コードを挟まないように注意する

断線し火災の原因になることがあります。

スライドカウンター上で高温になるものは使用しない

トースター、魚焼き器、ホットプレートなど使用時に高温になるものをスライドカウンター上で使用しないでください。火災の恐れがあります。

注意

塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムを腐食・劣化し、漏水の原因になります。保管の場所や方法に充分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。



台所で使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他の薬品類それぞれの、容器などに表示されている注意事項を必ずご覧ください

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器が傷み、水漏れ事故や、故障の原因となることがあります。



加熱機器の使用時、使用直後は、加熱機器周辺に手をふれないでください

加熱機器周辺の表面温度が高くなっているので、やけどの恐れがあります。



混合水栓を使用するときは、必ず水を先に出してください

水栓および熱湯でやけどをする恐れがあります。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。



不安定な場所でまな板を使用しない

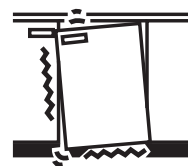
まな板は、不安定な場所での使用や、シンクでの渡し掛け使用はやめてください。ケガや破損の原因になります。
※ V・H・SPシンクと調理プレートをご使用の場合を除く。

ワークトップやシンク等に食品を直接置かない

衛生的な調理のため、また製品のキズ・劣化防止等のためまな板、トレイ、ボウル、ざる等の調理器具をご使用ください。

扉が傾いたり、ガタついているときは、蝶番のビスを締めなおしてください

扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。29ページのビス① ②をしっかりと固定してください。



⚠ 注意

⊘ 上に乗らない

事故や破損の原因になります。



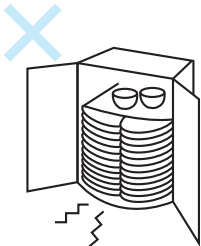
⊘ 扉や引き出し、取っ手に乗らない

扉や引き出し、取っ手に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。蝶番やレールがこわれると落下してケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



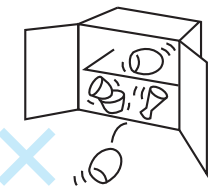
⊘ 重い物を載せない

変形や破損の原因となります。載せすぎたり、一か所に集中させないで平均して載せてください。各部材の耐荷重については16ページを参照ください。破損してケガの恐れがあります。



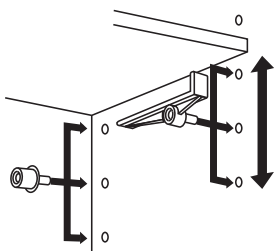
⊘ 転がりやすい物を入れたり、不安定な積み方をしない

収納物が転がり落ちてケガをしたり、破損の原因となります。



⚠ 棚受けダボはしっかり差し込む

棚板は可動式です。棚板を外し、棚受けダボをお好みの位置に移動してください。棚受けダボはすき間のないように奥まで差し込んでください。棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。



⊘ 扉を大きく開けすぎない

扉がはずれて、ケガをする恐れがあります。

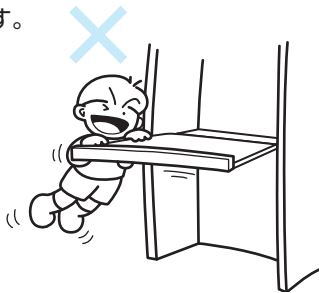
⊘ ガードバーを持って引き出しを外さない

ガードバーが破損したり、外れて引き出しが落下しケガをする恐れがあります。



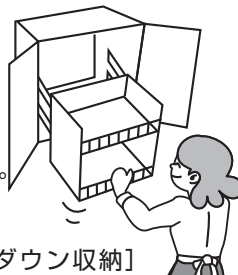
⊘ のったりしない

スライド棚を引き出した状態のときは、スライド棚に寄りかかったり、登ったり、ぶらさがったり、腰かけたり、ぶつからないようにご注意ください。ケガをする恐れがあります。



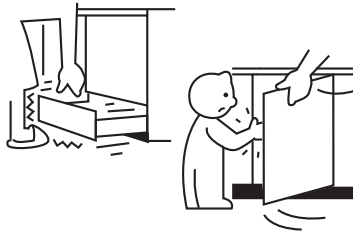
⚠ プルダウン収納の使用について

使用の際には製品に添付されている専用の取扱説明書および本体に貼り付けの注意事項を必ずご覧ください。使い方を誤ると、事故や故障の原因となる恐れがあります。



⚠ 引き出しや扉の開閉に注意

扉・蝶番や引き出しで、手足や指を挟まないように気をつけて開閉してください。ケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



⊘ 扉を開けたままにしない

頭をぶつけてケガをしたり、収納物が落下して、破損やケガをする恐れがあります。



⊘ 収納物が入ったまま引き出しを外さない

収納物が落下してケガをする恐れがあります。



3 ワークトップ・カウンター (ステンレス・人造石・人工大理石・メラミン)

使用上の注意

⚠ 注意

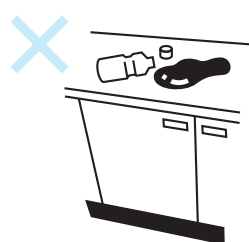
❌ 塩素系洗剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムを腐食・劣化し、漏水の原因になります。誤って使用したときは、すぐに水洗いをし、よく拭き取った後、乾拭きしてください。



❌ 汚れや塩分はすぐ洗い流す

放置すると汚れが落ちにくくなり、サビや変色の原因になります。醤油・食酢・調味料・煮こぼれなどの汚れはすぐに洗い流し、乾拭きをしてください。



❌ 衝撃を与えない

鋭利な物や、鍋などの重い物を落とすと、へこみやキズになります。



❌ 金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない

金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗いクレンザーなどを使用しないでください。キズが付き、光沢がそこなわれる恐れがあります。



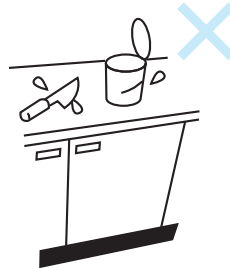
❌ 塩ビ系ゴム製品を放置しない

輪ゴム、ゴムべらなどを長時間放置すると変色の恐れがあります。特に人工大理石の場合はご注意ください。



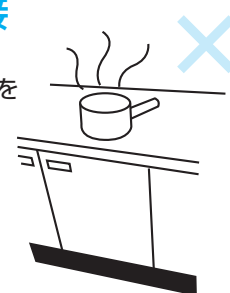
❌ ぬれた鉄製品を放置しない

ぬれた包丁や缶詰、鉄製の鍋などを長時間放置すると、サビが付着(もらいサビ)します。



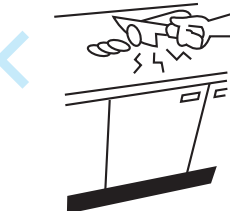
❌ 熱い鍋などを直接置かない

沸騰したヤカンや熱したフライパンを置くときは、必ず鍋敷きをご使用ください。ヒビ割れ、変色、フクレの原因となります。特に人工大理石の場合はご注意ください。



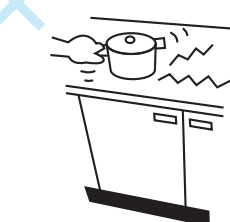
❌ 包丁などを直接使用しない

包丁やナイフなどの刃物を、直接当てると表面が傷つきます。必ずまな板をご使用ください。



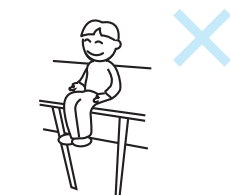
❌ 鍋などを引きずらない

鍋や大皿などを引きずると、表面が傷つきますので避けてください。



❌ 上に乗らない

事故や破損の原因になります。



❌ 殺菌灯などの紫外線照射器の光を直接照射しない

変色、劣化の恐れがあります。

お手入れ方法

調味料や油などをこぼしたら…

すぐに拭き取ってください。その際、強くこすらないでください。

1日の終わりには…

水洗いをし、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

週に1度は…

台所用洗剤をスポンジに付けて汚れを落としてください。

水拭きでしっかり洗剤を取り除いた後、乾拭きをしてください。

水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。



床や壁などを汚したり、ぬらしてしまったら…

すぐに拭き取ってください。

放置するとシミや膨れなどが発生する恐れがあります。

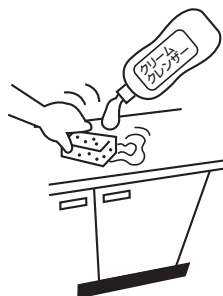
くもりが出たら…

スポンジにクリームクレンザーを付けて拭きます。

水拭きでしっかり洗剤を取り除いた後、乾拭きをしてください。

水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。

※人造石、メラミンの場合は、
クリームクレンザーを
使用しないでください



汚れが目立つ…

スポンジに台所用洗剤をつけて、汚れを拭き取ってください。

落ちにくい場合は
クリームクレンザーを使い、
円を描くようにやさしく拭き、
その後、水拭きし、よく拭き取った後、
乾拭きをしてください。

※人造石、メラミンの場合は、クリーム
クレンザーを使用しないでください



サビが出た!! ※ステンレスの場合

市販のメラミンフォームもしくは
クリームクレンザーなどで、

ていねいに、サビを落としてください。

サビを拭き取ったら、水で洗い流し、

よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

水気を残すとサビや水あかが
発生する恐れがあります。



キズが付いた!!

小さな擦り傷は
クリームクレンザーで
磨いてください。

※人造石、メラミンの場合は、
クリームクレンザーを
使用しないでください



お手入れ上の注意

⚠ 注意

酸性、アルカリ性、塩素系洗剤、漂白剤、 酸類などを使わない

酸性、アルカリ性、塩素系洗剤、漂白剤、
酸類などを絶対使用しないでください。

サビの原因となります。

また、人工大理石にはアセトン、

シンナーなどの溶剤も絶対に

使用しないでください。

変色・変質する恐れがあります。

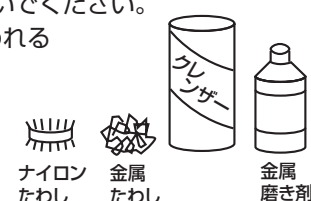


金属たわしや粒子の粗いクレンザー、 金属磨き剤などを使用しない

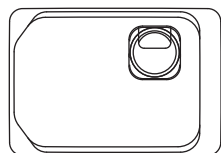
金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗い
クレンザーなどを使用しないでください。

キズが付き、光沢がそこなわれる

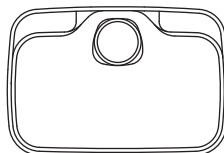
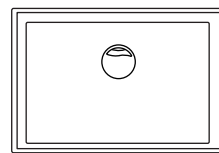
恐れがあります。



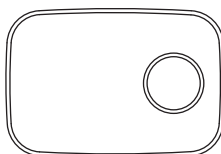
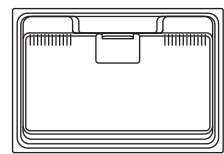
シンク形状

Vシンク
(スリーレイヤード
シンク)

Dシンク

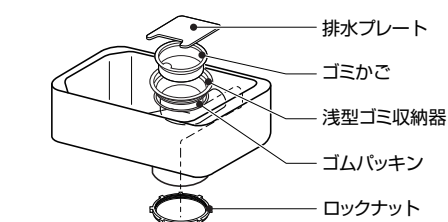
SPシンク
(スリーレイヤード
シンク)

Nシンク

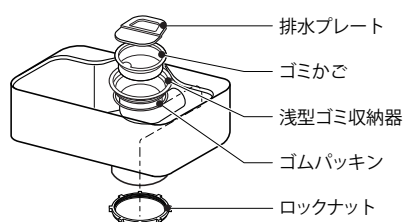
Hシンク
(スリーレイヤード
シンク)

シンク分解図

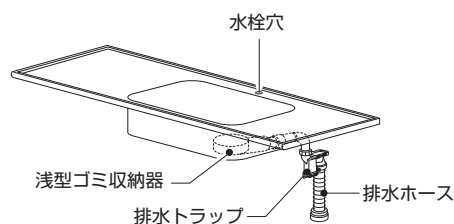
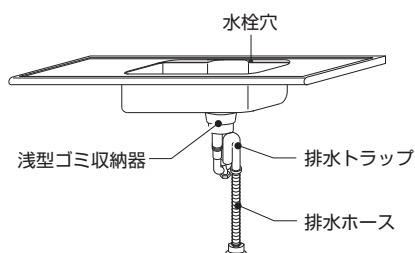
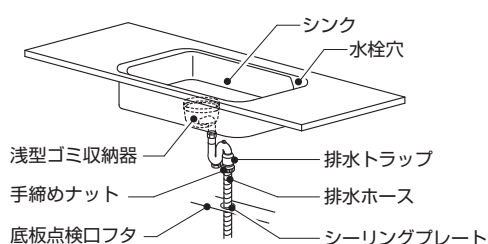
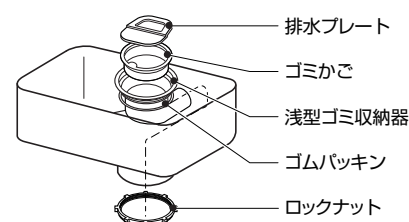
(Vシンク用)



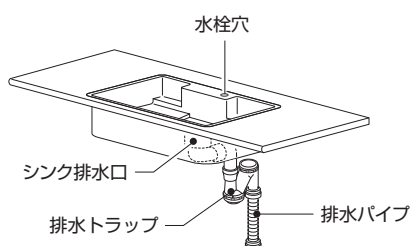
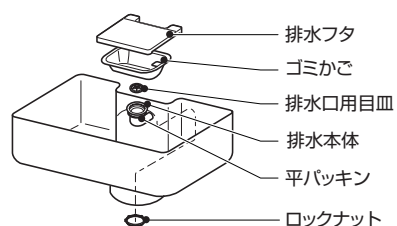
(Dシンク用)



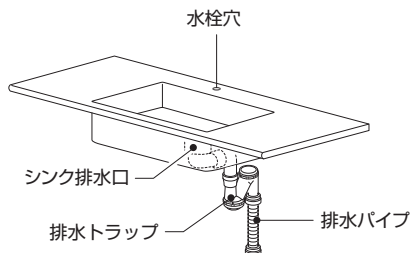
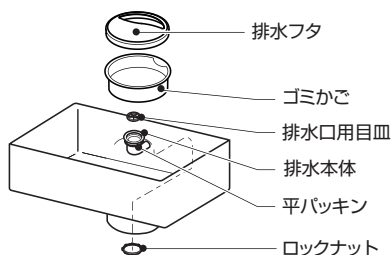
(Nシンク用)



(Hシンク用)



(SPシンク用)



使用上の注意

注意

ぬれた鉄製品を放置しない

ぬれた包丁や缶詰などを
シンクに放置しないでください。
変色やサビが移る(もらいサビ)恐れ
があります。



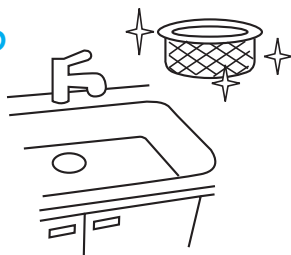
汚れや塩分はすぐ洗い流す

放置すると汚れが落ちにくくなり
サビや変色の原因になります。
醤油・食酢・調味料・煮こぼれなどの
汚れや塩分の強い物はすぐに
洗い流してください。



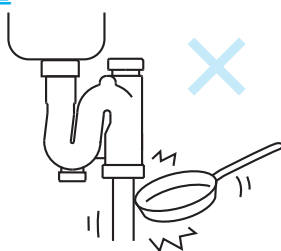
ゴミはこまめに捨てる

ゴミをためすぎると
臭気のもとになります。
水の流れも悪くなりますので、
ゴミはこまめに捨ててください。



排水セットに衝撃を与えない

変形・破損、水漏れの
原因となります。



不安定な場所でまな板を使用しない

まな板は、不安定な場所での使用や、シンクでの渡し掛け使用
はやめてください。

ケガや破損の原因になります。

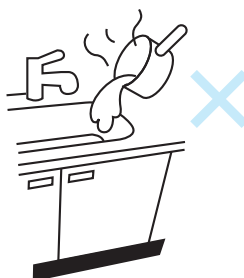
※Vシンク・Hシンクと調理プレートをご使用の場合を除く

シンクの上に乗らない

事故や破損の原因となります。

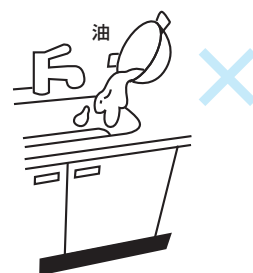
熱い物を流さない

高温のお湯などを直接シンクに流すと、
ゴム・プラスチック部分の変形・破損、
水漏れの原因となります。
水と一緒に流してください。



油類は流さない

環境保護のため油類は
流さないでください。
パイプ内壁に付着して、
パイプが詰まり漏水や、
水がこぼれる恐れがあります。



結露に注意する

大量の氷や冷凍食品を直接
置き、長時間放置しないで
ください。
結露する恐れがあります。



あけたキャップは確実に締める

排水の流れが悪い場合には、
排水トラップ下のキャップを外し、
掃除してください。

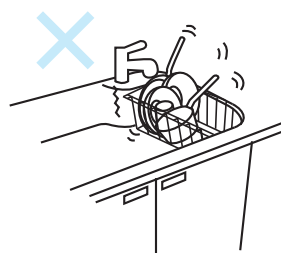
また、キャップを元に戻すときには、
必ず、キャップの中に黒色のパッキンが
付いているのを確認してから
確実に締めてください。

水漏れし、拡大損害の恐れがあります。

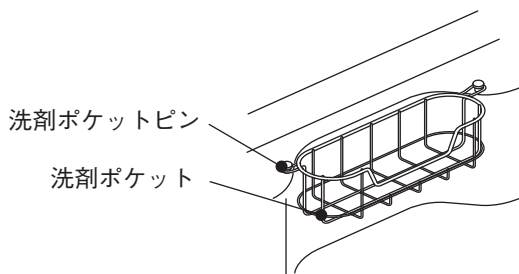


転倒に注意する

水切りかごなどのシンクまわり
オプションは、載せすぎたり、
1カ所に集中させないで平均
して載せてください。
バランスがくずれて、
ケガをする恐れがあります。



ロシンク用洗剤ポケットの取り付け方・取り外し方



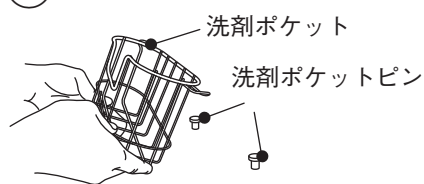
取り付け方

- ① 洗剤ポケットの手前を持ち上げてください。
- ② 洗剤ポケットを洗剤ポケットピンに対して斜めに傾けた状態で引っ掛けてください。
- ③ 洗剤ポケットを下ろし、はめ込んでください。

外し方

取り付け方と逆の手順で外してください。
※ 不用意に外れることを防止するために、真上から取り付け、取り外しをしにくくしています。

① 手前を持ち上げ傾ける



②

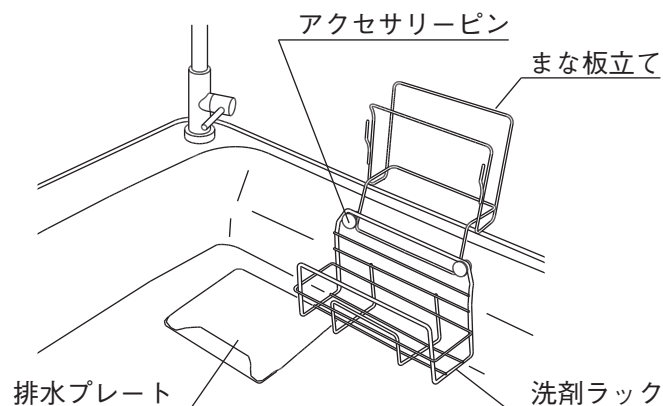


③



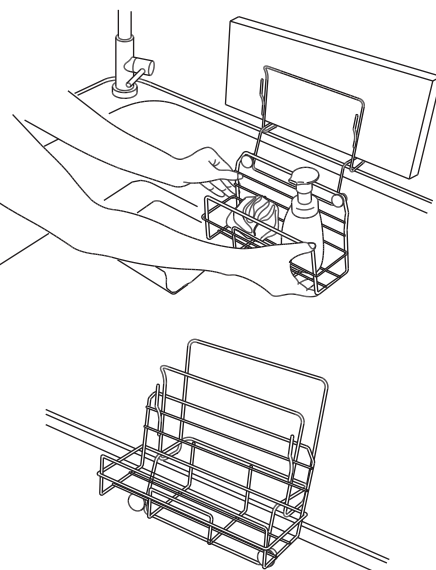
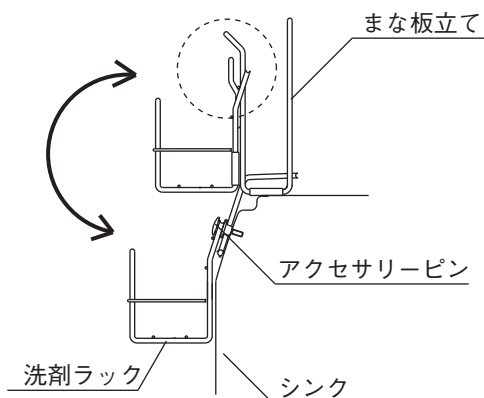
Vシンク(スリーレイヤードシンク)用洗剤カゴ、まな板立ての取り付け方

洗剤まな板ラックの取り付け方

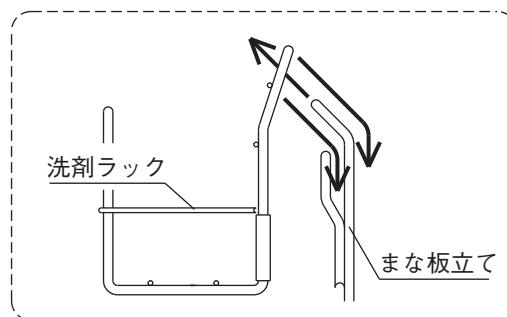


洗剤ラックを下につけた状態で、
水切りプレートは設置できません

水切りプレートをご使用の際は、洗剤ラックを
まな板立てに取り付けてください。(右図参照)

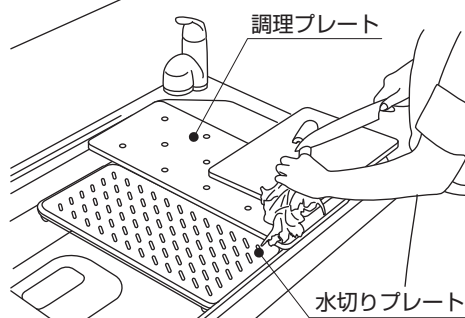


まな板立てに取り付けた状態

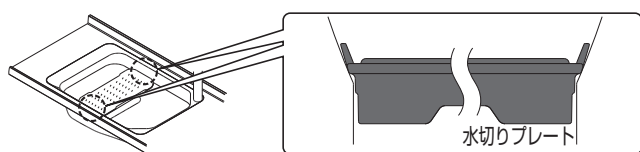


洗剤ラックはアクセサリピンにも、まな板立てにも取り
付けられます。水切りプレートや水切りかごをご使用にな
る際は、上図を参考にワイヤーに掛けてください。

Vシンクオプション品の使い方



水切りプレート…………… シンク内の中段を活かし、ワークトップより一段低く設置できる
(耐荷重：5kg) 「水切りプレート」で野菜の水切りやパスタの湯切り時も水がこぼれず安心です。



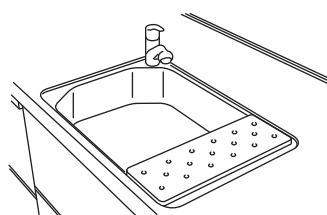
<設置について>

- ・シンク内の傾斜部分に水切りプレートを設置してください。
- ⚠️ ・しっかり固定できたか、確認してからご使用ください。
不安定のまま使用すると落下するおそれがあります。
- ・5kg以上、載せないでください。

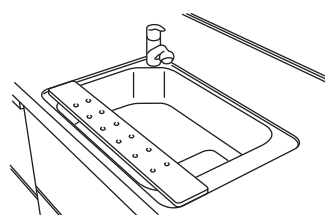
⚠️ 注意

- お湯の入った鍋などを水切りプレートの上には置かないでください。
- 水切りプレート上で包丁などの刃物類は使用しないでください。
- 水切りプレート上でまな板を置いて作業をしないでください。
ヤケドやケガをする恐れがあります。

調理プレート…………… シンク上段に設置する調理プレート。まな板を使った切る作業や調理道具・食器等の水切りなど多目的に使えます。タテ置き型とヨコ置き型の2タイプをご用意しました。



タテ置き型

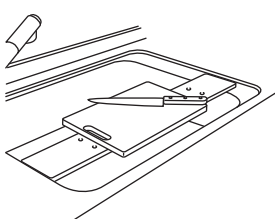
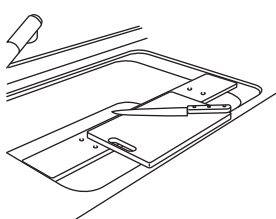


ヨコ置き型

⚠️ 注意

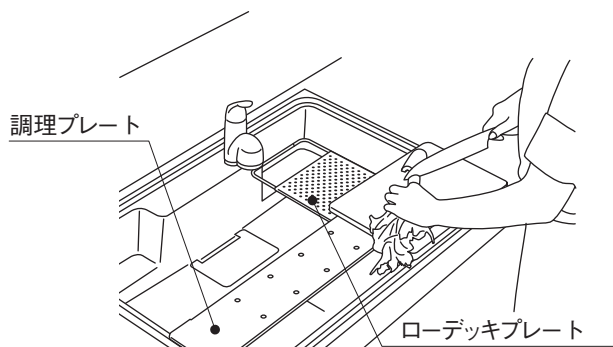


- 調理プレート上でまな板を使用する場合は、必ずワークトップにまな板がかかるように設置し、安定した状態で作業してください。
不安定のまま使用すると落下しケガをする恐れがあります。

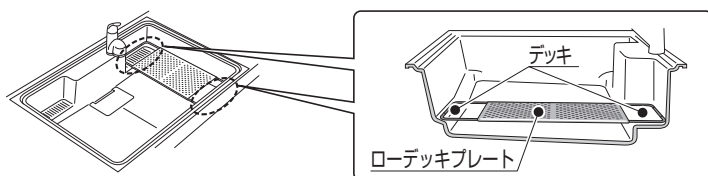


- 硬い物や切りにくい物を切るときに無理な力を加えると、まな板や食材がずべることがありますのでご注意ください。
不安定な物を切る場合はワークトップの上で作業してください。
- 表面を上にして使用してください。
プレートがたわみ変形する恐れがあります。
- 重い物をプレートに乗せるときは、偏りなく安定した状態になるようご注意ください。
バランスが崩れて落下する恐れがあります。

Hシンクオプション品の使い方



ローデッキプレート… シンク内の中段を活かし、ワークトップより一段低く設置できる「ローデッキプレート」で野菜の水切りやパスタの湯切り時も水がこぼれず安心です。
(耐荷重：5kg)



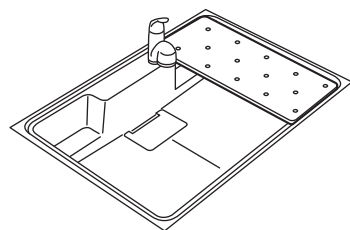
<設置について>

- ・シンク内のデッキ部分にローデッキプレートを設置してください。
- ⚠ ・しっかり固定できたか、確認してからご使用ください。
- ・5kg以上、載せないでください。

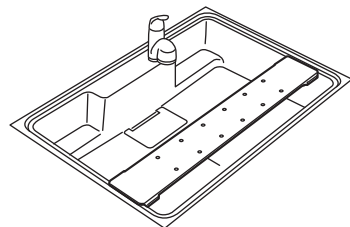
⚠ 注意

- お湯の入った鍋などをローデッキプレートの上には置かないでください。
- ローデッキプレート上で包丁などの刃物類は使用しないでください。
- ローデッキプレート上でまな板を置いて作業をしないでください。ヤケドやケガをする恐れがあります。

水切りプレート… 洗った食器や野菜の水切りなどが可能です。
(耐荷重：5kg)



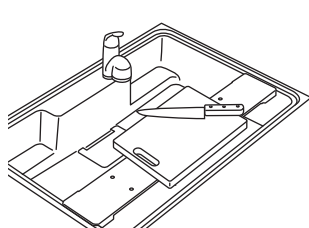
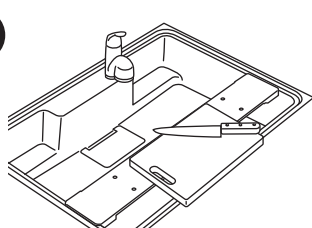
調理プレート… シンク上段に設置する調理プレート。まな板(耐荷重：20kg)を使った切る作業や調理道具・食器等の水切りなど多目的に使えます。



⚠ 注意

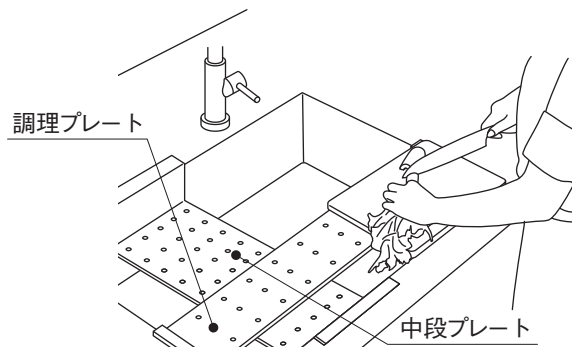


- 調理プレート上でまな板を使用する場合は、必ずワークトップにまな板がかかるように設置し、安定した状態で作業してください。不安定のまま使用すると落下しケガをする恐れがあります。



- 硬い物や切りにくい物を切るときに無理な力を加えると、まな板や食材がすべることがありますのでご注意ください。不安定な物を切る場合はワークトップの上で作業してください。
- 表面を上にして使用してください。プレートがたわみ変形する恐れがあります。
- 重い物をプレートに乗せるときは、偏りなく安定した状態になるようご注意ください。バランスが崩れて落下する恐れがあります。

SPシンクオプション品の使い方

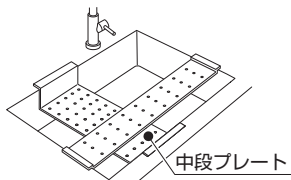


⚠ 注意



- 調理プレート・中段プレートは、キズ防止や安全のため引きずらずに持ち上げて移動させてください。
特に物を載せた状態での移動はしないでください。
荷重がかかった状態でプレートをスライドさせると、キズ防止テープが剥がれたり、シンクにぶつかって音が鳴ったり、傷が付いてしまったりする恐れがあります。

中段プレート……………シンク内を活かし、ワークトップより一段低く設置できる
(耐荷重：5kg) 「中段プレート」で、野菜の水切りやパスタの湯切り時も水がこぼれず安心です。



<設置について>

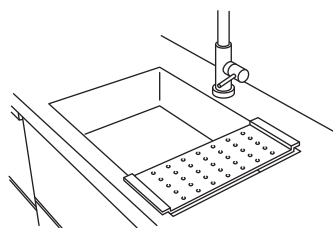
- ・シンク内のデッキ部分に中段プレートを設置してください。
- ⚠ ・しっかり固定できたか、確認してからご使用ください。
- ・5kg以上、載せないでください。

⚠ 注意

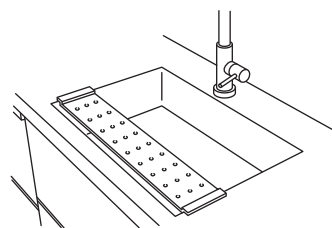


- お湯の入った鍋などを中段プレートの上には置かないでください。
- 中段プレート上で包丁などの刃物類は使用しないでください。
- 中段プレート上でまな板を置いて作業をしないでください。
ヤケドやケガをする恐れがあります。

調理プレート………シンク上段に設置する調理プレート。まな板を使った切る作業や調理道具・食器等の水切りなど多目的に使えます。タテ置き型とヨコ置き型の2タイプをご用意しました。



タテ置き型

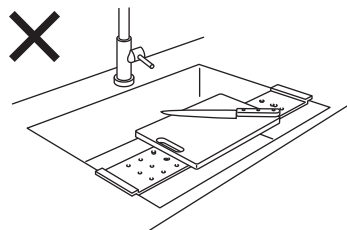
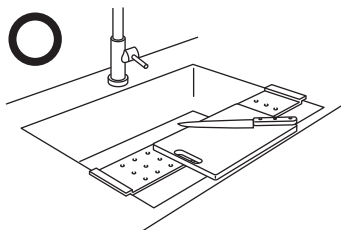


ヨコ置き型

⚠ 注意



- 調理プレート上でまな板を使用する場合は、必ずワークトップにまな板がかかるように設置し、安定した状態で作業してください。
不安定のまま使用すると落下しケガをする恐れがあります。



- 硬い物や切りにくい物を切るときに無理な力を加えると、まな板や食材がずべることがありますのでご注意ください。
不安定な物を切る場合はワークトップの上で作業してください。
- 表面を上にして使用してください。
プレートがたわみ変形する恐れがあります。
- 重い物をプレートに乗せるときは、偏りなく安定した状態になるようご注意ください。
バランスが崩れて落下する恐れがあります。

お手入れ方法

シンク

1日の終わりには…

水拭きをした後、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

ちょっとした汚れは…

スポンジに台所用洗剤を付け、洗ってください。

その後、水で洗い流し、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。



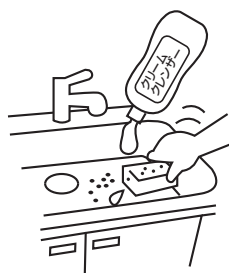
ザラつきが気になる…

水を少し含ませたスポンジにクリームクレンザーを付け、汚れを落としてください。

水で洗い流し、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。

扉やキャビネットに飛び散らないように使用してください。



サビが出た!!

市販のメラミンフォームもしくはクリームクレンザーなどで、ていねいに、サビを落としてください。

サビを拭き取ったら、水で洗い流し、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。

扉やキャビネットに飛び散らないように使用してください。



排水トラップ

1日の終わりには…

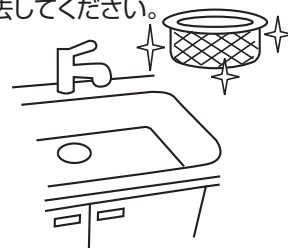
ゴミかごにたまったゴミをきれいに処理してください。

また、ゴミかごのまわりのゴミも除去してください。

ちょっとした汚れは…

スポンジに台所用洗剤を付けて汚れを落としてください。

特に油を使う料理をした日は汚れやすいので念入りに行ってください。



3～6カ月に1度程度

排水トラップの汚れを取るために、市販のパイプクリーナーをご使用ください。

排水の流れが悪い…

まず、わんを外し、トラップ部に詰まっている野菜くずや汚れ、ゴミかごの目詰まりを取り除きます。それでも流れが悪い場合は、わんを外してからパイプクリーナーをご使用ください。

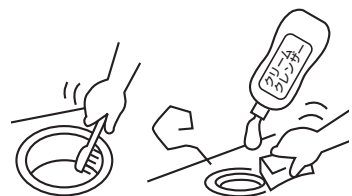
※市販のパイプクリーナーをご使用の際は、使用方法をよく読んでから使用してください。ステンレス部分にはパイプクリーナーを付着させないでください。付着するとサビの原因になりますので付着した場合は、すぐに水洗いして、拭き取ってください。また、パイプ部分にパイプクリーナーを付着させたままにしないでください。



ヌメリが気になる…

スポンジや歯ブラシにクリームクレンザーを付けて、ヌメリを落としてください。

その後、水でよく洗い流してください。



お手入れ上の注意

⚠ 注意

ヌメリ取り剤などを使わない

市販のヌメリ取り剤は、塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスが錆びる恐れがありますので使用しないでください。



金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない

金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗いクレンザー類を、使用しないでください。表面が傷つき、光沢や表面コートがそごわれる恐れがあります。



塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを使わない

塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを絶対使用しないでください。サビの原因となります。



使用上の注意

⚠ 注意

! 重量規定を守る

重い物を載せすぎたり、1カ所に集中して置かないでください。破損してケガをする恐れがあります。

●引き出し
フルオープンレールタイプ…耐荷重は20kgです

●キャビネット
棚板、底板…耐荷重は20kgです

●モバイルラック小引き出し
…耐荷重は3kgです

●カウンター
…耐荷重は30kgです

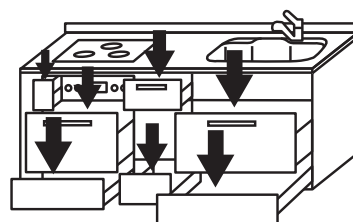
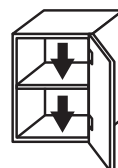
●スライドカウンター
…耐荷重は15kgです

●固定カウンター(多目的収納)
…耐荷重は30kgです

●V・H・SPシンク用調理プレート
…耐荷重は20kgです

●V・Hシンク用水切りプレート、
サポートメッシュ、
Hシンク用ローデッキプレート
SPシンク用中段プレート
…耐荷重は5kgです

●引き出し連動ダストボックス「カクステ」
…製品に同梱の説明書をご参照ください



▼重量のめやす

ざるセット(大・中・小) ……約0.7kg

ボウルセット(大・中・小) ……約0.8kg

寸胴鍋 ……約3.5kg

両手鍋(大) ……約2.0kg

両手鍋(中) ……約1.5kg

フライパン(直径25cm) ……約1.0kg

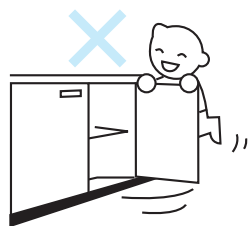
大皿 (直径35cm) ……約1.0kg

中皿 (直径25cm) ……約0.5kg

小皿 (直径16cm) ……約0.2kg

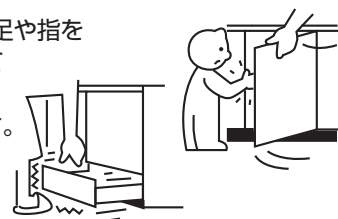
⊘ 扉や引き出し、取っ手に乗らない

扉や引き出し、取っ手に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。蝶番やレールがこわれると落下してケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



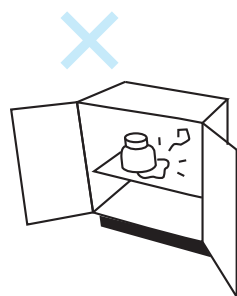
! 引き出しや扉の開閉に注意

扉・蝶番や引き出しで、手足や指を挟まないように気をつけて開閉してください。ケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



汚れたままにしない

油・調味料など食品の汚れは、サビや腐食、カビの原因となりますので早めに拭き取ってください。



ぬれたままにしない

木部が水を含み傷んだり、レールや蝶番、ステンレスが錆びる恐れがありますので、しっかり拭き取ってください。

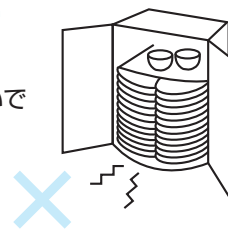
! 包丁差しの使用について

包丁差しは、シンク前の引き出しに設置されています。包丁差しの差し込み溝の中に、包丁の刃を確実に納めてください。お子様がさわらないようにご注意ください。ケガをする恐れがあります。



⊘ 重い物を載せない

変形や破損の原因となります。載せすぎたり、一カ所に集中させないで平均して載せてください。各部材の耐荷重については上記を参照ください。破損してケガの恐れがあります。



使用上の注意

注意

排水トラップ前に 大きな物を収納しない

扉を閉めたときに排水トラップにぶつかり、キズが付いて水漏れする恐れがあります。
鍋などは取っ手の向きにご注意ください。引き出しに取り付けられている配管ヨケの上に物を置かないでください。



[シンク用ベースキャビネット]

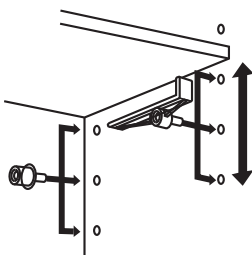
転がりやすい物を入れたり、 不安定な積み方をしない

収納物が転がり落ちてケガをしたり、破損の原因となります。



棚受けダボはしっかり差し込む

棚板は可動式です。
棚板を外し、棚受けダボをお好みの位置に移動してください。
棚受けダボはすき間のないように奥まで差し込んでください。
棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。



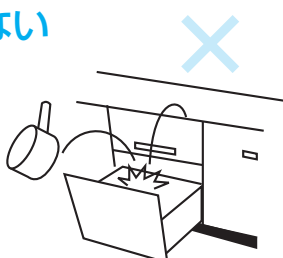
ガードバーを持って引き出し を外さない

ガードバーが破損したり、外れて引き出しが落下しケガをする恐れがあります。



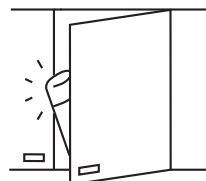
キャビネットにかたい物を 落とさない、ぶつけない

キズがついたり、破損したりする恐れがあります。



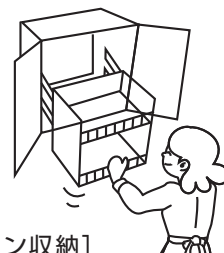
扉が完全に閉まらないような 収納はしない

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。



プルダウン収納の 使用について

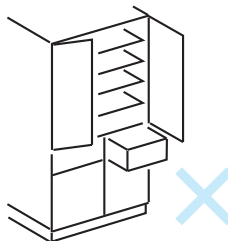
使用の際には製品に添付されている専用の取扱説明書および本体に貼り付けの注意事項を必ずご覧ください。
使い方を誤ると、事故や故障の原因となる恐れがあります。



[プルダウン収納]

上下の扉や引き出しを 同時に開けない

扉と引き出しを同時にあけると指を挟んで思わぬケガをしたり、扉が干渉し、キズが付く場合があります。



食器洗い乾燥機と下の引き出しを 同時に開けない

食器洗い乾燥機をご使用になる場合、下の引き出しを同時にあけると指を挟んで思わぬケガをしたり、扉が干渉してキズがつく場合があります。

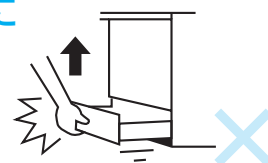
収納物が入ったまま 引き出しを外さない

収納物が落下してケガをする恐れがあります。



引き出しは水平方向に 引いて開ける

引き出しは水平方向に引いて開けてください。上方向に引っ張りながら開けると、上の扉に当たってキズがつく恐れがあります。



使用上の注意

注意

開き扉の開き勝手を間違えたり、開かない扉を引っ張らないよう注意する

指先をすべらせ、ケガをする恐れがあります。

引き出しの開まり方について

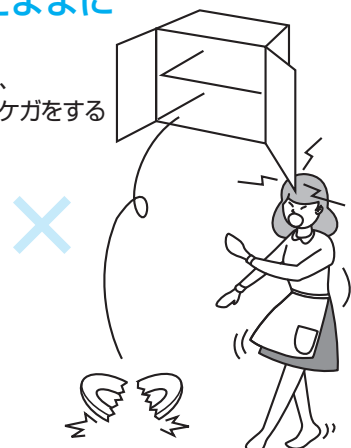
引き出しの大きさや、収納物などにより引き出しの開まる速度が変わります。

引き出しの開き方について

収納物の状況や開け方によっては斜めに開く場合があります。

扉を開けたままにしない

頭をぶつけてケガをしたり、収納物が落下して、破損やケガをする恐れがあります。



キャビネット
（キッチン）

お手入れ方法

- 中の物を取り出して、掃除機かほうきを使って隅々までゴミを取ります。
- 薄めて作った台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。

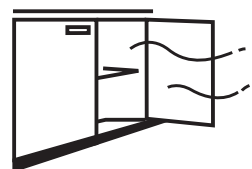
その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。

※油・調味料・食品の汚れを放置していると、サビや腐食、カビの原因になりますので早めに拭き取ってください。



湿気・臭気対策

湿気がこもりやすい場所なので、時々扉を開けて、換気をよくしましょう。消毒用エタノールを含んだ、固く絞った布で拭いてください。



お手入れ上の注意

注意

ぬれたままにしない

湿気がこもるとカビや臭気の原因となります。また、引き出しレールや蝶番などのサビの原因にもなります。水拭きした後は必ず乾拭きし、乾くまで扉は開けておきましょう。



使用してはいけないもの

- アセトン、シンナーなどの溶剤
- 研磨剤の入った洗剤などは表面を傷めます。

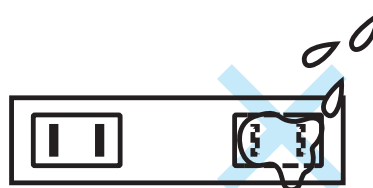


警告



コンセントをぬらさない

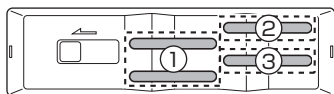
感電や火災の原因になることがあります。



付属品の使い方

包丁差し

収納の目安

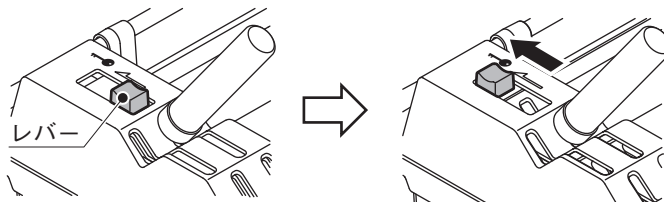


	刃の長さ	刃の幅
①	18cm未満	5cm未満
②	21cm未満	5cm未満
③	20cm未満	5.5cm未満

※柄の長さは全て14cm未満となります
※刃の厚みは全て5mm未満となります

ロックのかけ方

包丁差し上部のレバーを、カギのマークの方向へスライドさせるとロックがかかります。



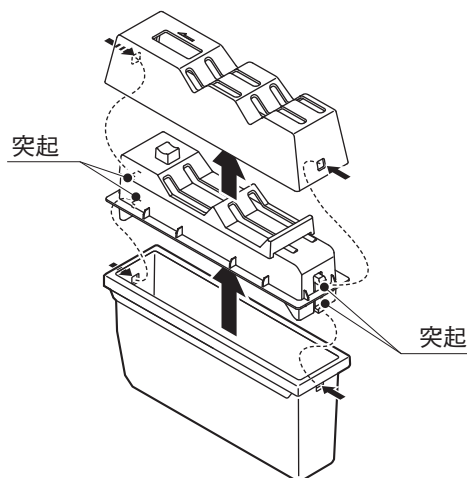
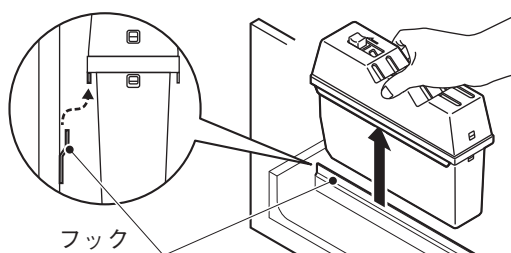
⚠ 注意



ロックがかかった状態あるいは、刃が開口に引っかかった状態で無理にひっぱらないでください。包丁差しが外れる恐れがあります。

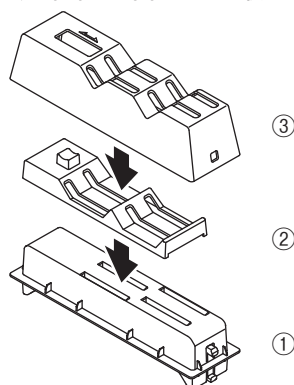
包丁差しの取り外し方

収納している包丁をすべて取り出してから、キッチン本体より外してください。包丁差しは、扉裏面のフックに差し込んでありますので、上に持ち上げて外してください。本体側面にある突起を押しながら、上のカバーを持ち上げて外してください。

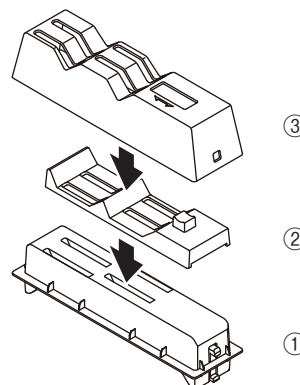


包丁差しの取り付け方

包丁差しのカバーは3つの部品から構成されています。図の①～③の順に本体に取り付けしてください。それぞれの部品の穴の位置を合わせて取り付けしてください。



※包丁差しは向きを変えることができます。向きを変える場合は、①～③それぞれの部品の向きを反転させて取り付けしてください。



付属品の使い方

包丁差し

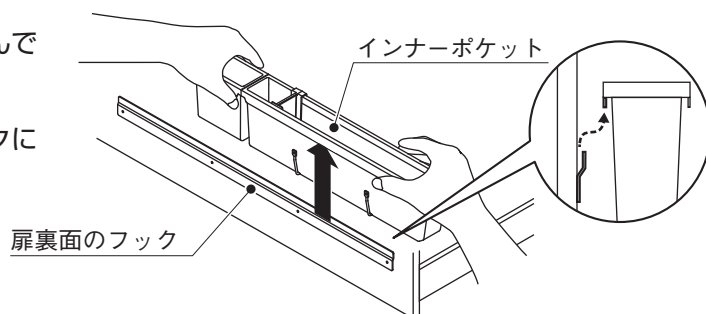
包丁差しの取り外しかたの手順にしたがって取り外し、台所用洗剤をつけた柔らかいスポンジで洗い、汚れを落としてください。汚れを落とした後、乾拭きをしてください。

インナーポケット

※プランによって有り無しがあります。またサイズによって個数が異なります。

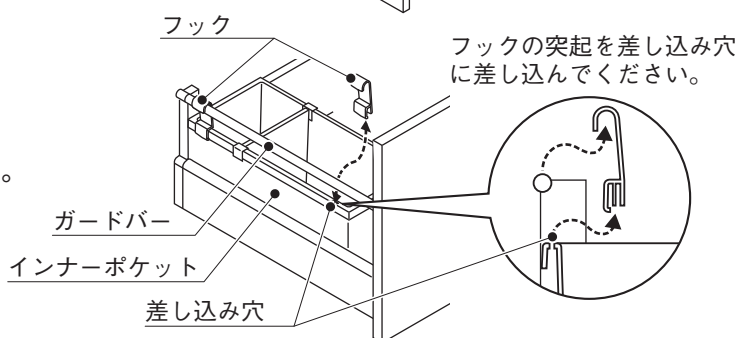
インナーポケット（ヨコ用）

インナーポケットは扉裏面のフックに差し込んであります。取り外す場合は、上に持ち上げて外してください。
取り付けは、インナーポケットのつばをフックにしっかりと差し込んでください。



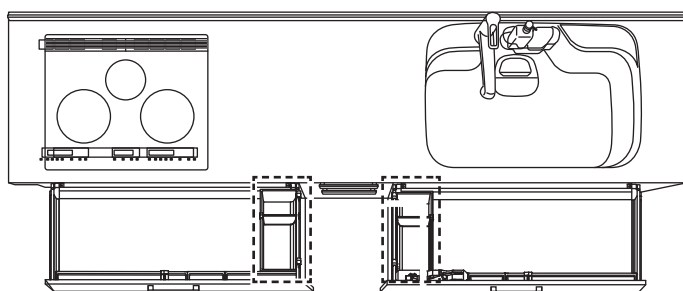
インナーポケット（タテ用）

引き出し側面のインナーポケットは、引き出しのガードバーにフックで固定されています。取り外す場合は、上に持ち上げてフックはインナーポケットから取り外すことができます。

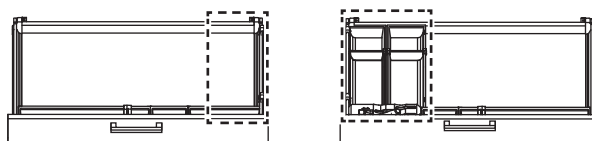


- ・インナーポケット（タテ用）は移設してお使いいただくことができます。

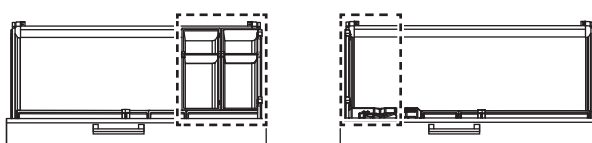
※移設する場合は、フックを外してご使用ください。



- ・加熱機器用キャビネットの収納をシンクキャビネットへ移動



- ・シンクキャビネットの収納を加熱機器用キャビネットへ移動



お手入れ方法

それぞれ部品の取り外し方の手順にしたがって取り外し、台所用洗剤をつけた柔らかいスポンジで洗い、汚れを落としてください。汚れを落とした後、乾拭きをしてください。

使用上の注意

⚠ 注意

ぬれたり汚れたままにしない

■ 塗装扉・天然木扉の取り扱いについて

塗装扉・天然木扉は、一般的なシート扉に比べて取り扱いに注意が必要です。水がかかったまま放置をすると扉内部に水がしみこんで、ひび割れや膨れが発生することがありますのでこまめに抜き取ってください。

調味料や食品などの汚れは、放置すると取れにくくなりますので、速やかに拭き取ってください。また、取っ手にタオルをかけて使用しないでください。濡れたタオルをかけたままにすると、扉内部に水分がしみこんで、ひび割れや膨れが発生することがありますのでご注意ください。

■ シート扉の取り扱いについて

シート扉は、耐水性や耐汚染性に優れていますが、水に濡れたまま放置をすると、木口など継ぎ目の部分から扉に水がしみこんで膨れが発生することがありますので、必ず水を拭き取ってください。調味料や食品などの汚れは、放置すると取れにくくなりますので、速やかに拭き取ってください。

ぶら下がったり、
乗ったりしない

蝶番やレールがこわれると落下してケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



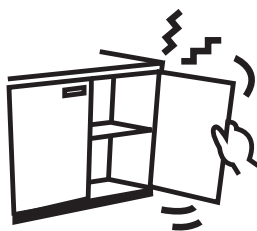
扉に鋭利なものをぶつけない

キズがついたり、破損したりする恐れがあります。

やさしく開閉する

扉は軽く開閉できますので、あまり強い力を入れずに開閉してください。

扉を開閉する時は周囲の物に当たらないように気を付けてください。



シールやテープ類を貼らない

粘着剤で表面が侵されます。また、はがした後、汚れが残る恐れがありますので貼らないでください。



お手入れ方法

ちょっとした汚れは…

柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れが気になる…

固く絞った布で拭いた後、乾拭きします。

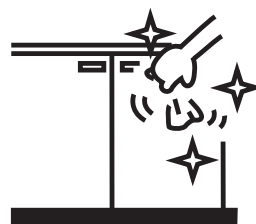
しつこい汚れは…

中性台所用洗剤液をぬるま湯で薄めます。

柔らかい布に含ませ、目立たない部分で、異常が無いことを確認してから汚れている部分を拭いてください。

その後、水拭きで洗剤が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。

※ご使用前に必ず洗剤の裏面に書かれている注意事項を確認してから、ご使用してください。



お手入れ上の注意

⚠ 注意

洗剤を拭き残さない

中性台所用洗剤が扉に付着したまま放置されると、表面がはがれたり、扉が膨れたりする原因となります。付着した洗剤は水拭きで洗剤が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。

塩素系洗剤・漂白剤・溶剤など
を使わない

塩素系洗剤・漂白剤、シンナーなどの溶剤、研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色や光沢をなくしたり表面を傷めます。



7 ロック機構 (オプション)

使用上の注意

注意

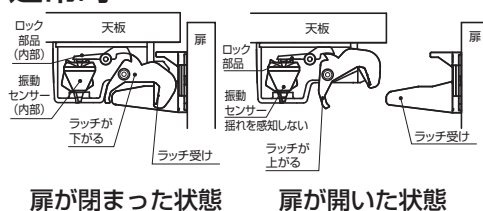
- 地震のあと、傾きが正常に戻れば、ロックが解除されますので、最初に扉を開けるときには、収納物の飛び出しにご注意ください。
- ロック機構は収納物の破損を防止するものではありません。
- 本体やラッチ受けをむやみに取り外したり、分解しないでください。正常に作動しなくなる恐れがあります。
- 本体とラッチ受けの間に物を挟まないでください。
- ロック機構周辺に磁力のある物を近づけないでください。
- 本体やラッチ受けの角で頭をぶつけないようご注意ください。思いがけないケガをする恐れがあります。
- 本体に汚れや水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- 揺れ感知式のため手荒く開閉すると、誤作動が起こる場合があります。扉はゆっくり開閉してください。

使い方

※キャビネットの設置状態、収納物の形状や地震の規模、揺れ方によっては、ロック機構が働かない場合があります。

ロック機構の働き (注：通常の使用時には、ロックは作動しません)

通常時

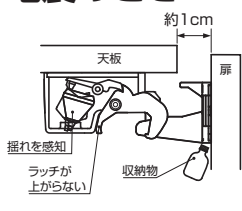


扉が閉まった状態

扉が開いた状態

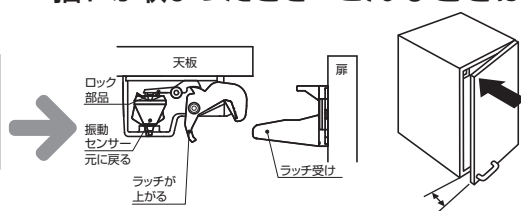
- 揺れがないときはロック機構が作動しません。扉を開くとラッチが上がりますので、開閉に支障はありません。

地震のとき



- 地震などの揺れを感知するとロック機構が作動し、ラッチが上がらなくなるためラッチ受けがラッチに引っ掛かり、扉が開放するのを防ぎます。ただし、約1cmほど扉は開きます。

揺れが収まったとき こんなときは…



- 地震の揺れが収まって静止状態になるとロックが自動的に解除されます。扉があいているときは、扉が閉まるまで押してください。キャビネット中の状態を確認しながら静かに扉をあけてください。
- 収納物によっては、少し扉があいてロック状態になることがあります。このときは、扉のロック機構が付いている付近を強く押すと、ロックが解除されます。

ロック機構
(オプション)

ロック誤作動時の解除方法 (注：通常の使用時には、この方法を行う必要はありません)

万一、扉がロック状態になり開かなくなったときは、下記の方法で強制解除を行ってください。

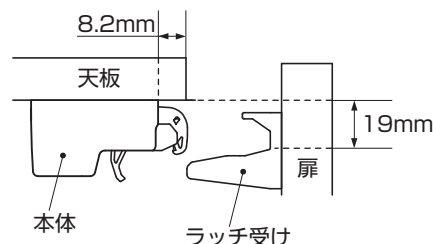
収納物の飛び出しにご注意ください。



- ①扉を開くと1cmほどのすき間ができます。ドライバーなど先の細い工具を差し込みます。
- ②差し込んだ工具でラッチ受けを押し下げます。

調整の方法

- ①扉の蝶番を調整する。
 - 蝶番の調整で扉のすき間を合わせてください。
- ②ラッチ受けと本体の固定を確認する。
 - ラッチ受けと扉、本体と天板の間にすき間がないようにビスを締めなおしてください。
- ③ラッチ受けが上下にスライドすることを確認。
 - ビスの締め過ぎでラッチ受けがスライドしない場合は、緩めてください。
- ④動作を確認する。
 - 扉を4～5回開き動作に問題がないか確認してください。
 - ラッチ受けをスライドさせた場合でも同様に確認してください。



使用上の注意

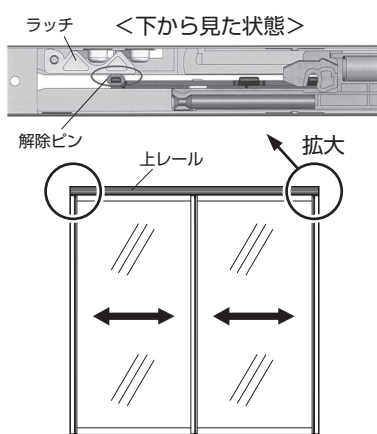
注意

- 地震のあと、傾きが正常に戻れば引き戸を閉めることでロックが解除されます。
- 本体をむやみに取り外したり分解しないでください。正常に作動しなくなる恐れがあります。
- ロック機構は収納物の破損を防止するものではありません。
- 引き戸を閉めた直後にあけると、わずかな振動でロック機構が作動する場合があります。引き戸はゆっくり開閉してください。
- 本体の間に手などを挟まないでください。ケガをする恐れがあります。
- キャビネットの設置状況や振動などの状況によっては、性能を十分に発揮できない場合があります。

使い方

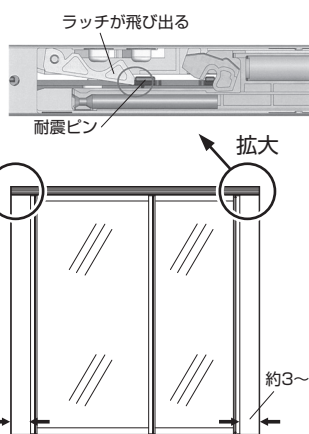
※キャビネットの設置状態、収納物の形状や地震の規模、揺れ方によっては、ロック機構が働かない場合があります。

ロック機構の働き（注：通常の使用時には、ロックは作動しません）



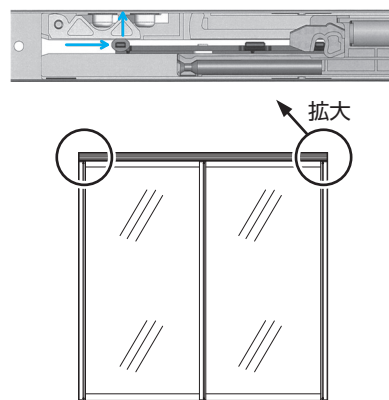
通常時

- ラッチが本体より出てきませんので引き戸の開閉に支障はありません。
- ※ロック機構本体は上レールの中に入っています。



地震のとき

- 地震などの揺れを感じるとロック機構が作動し、飛び出したラッチが耐震ピンに引っ掛かり、引き戸が開放するのを防ぎます。ただし、ロック機構作動時も約3~4cmほど引き戸は開きます。



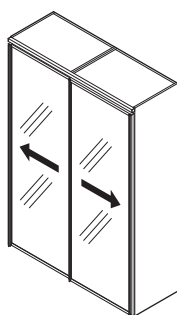
揺れが収まったとき

- 地震の揺れが収まって静止状態になるとダンパーの引き込み機能によりロックが解除されます。引き戸が開いている場合は閉まるまで押してください。キャビネット中の状態を確認しながら静かに引き戸を開けてください。

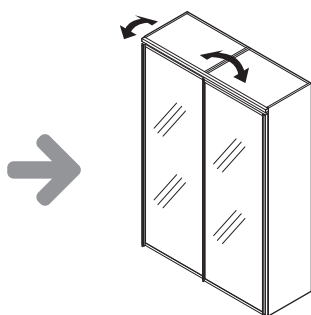
ロック誤作動時の解除方法（注：通常の使用時には、この方法を行う必要はありません）

万一、引き戸がロック状態になり開かなくなったときは、下記の方法で強制解除を行ってください。

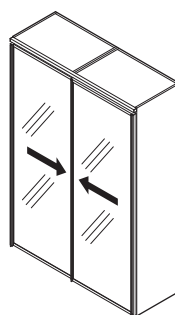
※収納物の飛び出しにご注意ください。



・引き戸を確実に閉めてください



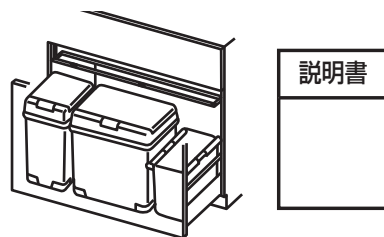
・傾きがない
グラつきがない
確認



・静かに開けてください

- ・引き戸を確実に閉めてください。そうすることにより解除ピンがラッチを抑えこむのでロックが解除されます。ロック機構は、2度以上の傾きがあると作動する場合があります。解除後、キャビネットの傾きやグラつきがないことと、レール及び本体が水平になっていることを確認し、問題がある場合は修正してください。それでも誤作動が起きる場合は新しい物と交換してください。

使用上の注意点およびお手入れ方法は、製品に付属の説明書にしたがってください。



[引き出し連動ダストボックス「カクステ」]

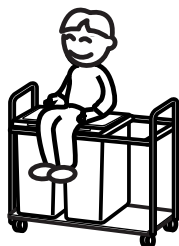
使用上の注意

注意



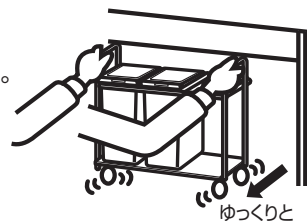
ワゴン本体に乗らない

ワゴンが破損したり、転倒し、ケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



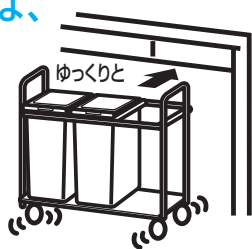
ワゴンを勢いよく引き出さない

ワゴンが転倒して、ケガをする恐れがあります。



ワゴンを収納する際は、ゆっくりと入れる

勢いよく入れると、ぶつかってキズが付く恐れがあります。



ゴミはこまめに捨てる

ゴミをためすぎると臭気のもとになります。ゴミはこまめに捨ててください。

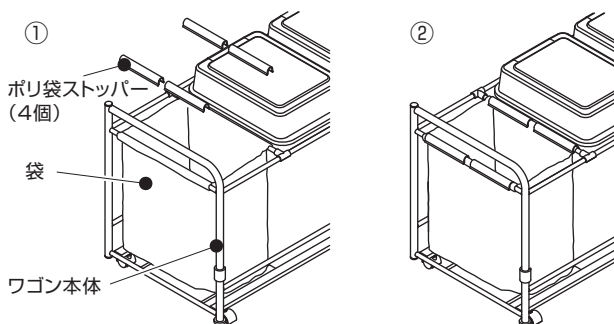


ダストボックス(1個あたりの容量20リットル)

ポリ袋ストッパーの使用方法

付属のポリ袋ストッパーを使用し、スーパー等の袋を取付けることができます。

- ①ポリ袋ストッパーをワゴン本体からはずし、袋を図のように取付けます。
- ②ワゴン本体にポリ袋ストッパーを取付け、袋を固定します。



お手入れ上の注意

注意

塩素系洗剤・漂白剤・酸類などを使わない

塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを絶対使用しないでください。サビの原因となります。



使用してはいけないもの

- アセトン、シンナーなどの溶剤
- 研磨剤の入った洗剤などは表面を傷めます。



警告



コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。



スライドカウンター上で高温になるものは使用しない

トースター、魚焼き器、ホットプレートなど使用時に高温になるものをスライドカウンター上で使用しないでください。火災の恐れがあります。

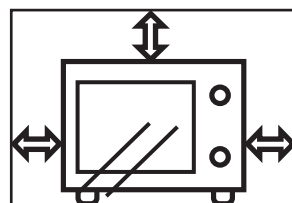


電子レンジなどを置く場合は、天面、後面、両側面に器具指定の空間を設けてください。

離隔距離がないと、給排気が充分にできず、加熱して発火する恐れや故障の原因になります。

それぞれの機器に添付されている取扱説明書および本体の注意表示を必ずご覧ください。

離隔距離を充分取ってください。



カウンターをしまう際は、電源コードを挟まないように注意する

断線し火災の原因になることがあります。

使用上の注意

注意



蒸気排出ユニットは製品に添付されている取扱説明書および本体の注意表示をよく読んで使用する

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。



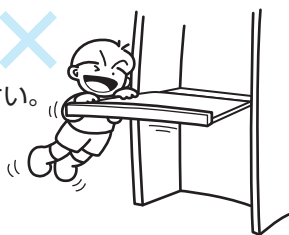
電源コンセントの表示容量(ワット)をこえる電気器具は使わない

容量をこえて使用すると電源コンセント部が発熱し、火災の恐れがあります。



のったりしない

スライド棚を引き出した状態のときは、スライド棚に寄りかかったり、登ったり、ぶらさがったり、腰かけたり、ぶつからないようご注意ください。ケガをする恐れがあります。



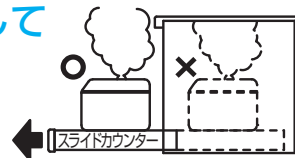
カウンターを引き出す際は、ゆっくりと引く

勢いよく引くと、電化製品などが転倒する恐れがあります。



スライドカウンターで炊飯器等をご使用の際はスライドカウンターを必ず引き出してください

庫内に蒸気がこもり結露する恐れがあります。

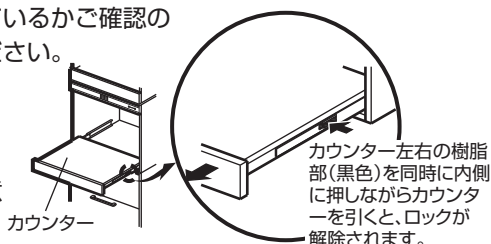


外し方・取り付け方

スライド棚は取り外しができます。

サイドレールの樹脂製ストッパーを左右共に押さえながら引き出せば簡単に外れます。取り付ける場合は、サイドレールに差し込んでスライド棚を奥まで押し込んでください。確実に収まっているかご確認のうえご使用ください。

スライド棚が重いので、落ちると危険ですのでご注意ください。



カウンター左右の樹脂部(黒色)を同時に内側に押しながらカウンターを引くと、ロックが解除されます。

11 オイルガードパネル (スリムペニンシュラ型・ペニンシュラ型・アイランド型の場合)

使用上の注意

⚠ 注意

金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない

金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗いクレンザー類を使用しないでください。キズが付き、光沢がそこなわれる恐れがあります。



燃える物やテープ類を貼らない

燃える恐れがあります。また、はがした後、汚れが残る恐れがありますので貼らないでください。



衝撃を与えない

割れてケガをする恐れがあります。



お手入れ方法

ちょっとした汚れは…

柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れが気になる…

固く絞った布で拭いた後、乾拭きします。

しつこい汚れは…

薄めて作った台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、乾拭きをしてください。



12 キッチンパネル (マグネットタイプ)

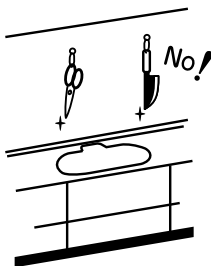
使用上の注意

⚠ 注意



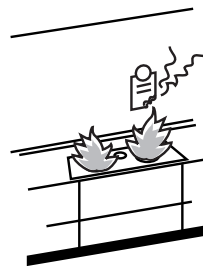
貴重品や壊れやすいもの、落下して危険なもの (包丁・はさみ等) は使用しない

壊れたり落下してケガをする恐れがあります。



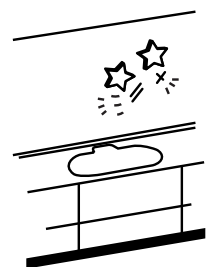
加熱機器付近でマグネットを使用しない

留めているメモ等が燃える恐れがあります。



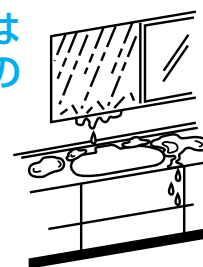
マグネットの形状に注意する

形状によっては、キッチンパネルの表面に擦り傷が付く恐れがあります。



常時水がかかる、または溜まるような環境下での使用はしない

フクレ、サビの原因になります。



マグネットの吸着力を確認した上で使用する

マグネットの種類、大きさによって、保持力が大きく変わります。貼り付け、引っ掛け時には、マグネットの吸着力を確認してください。



引き出しの外し方・取り付け方

外し方

引き出しをストッパーに当たるまで引き、持ち上げるように引き上げてください。



取り付け方

引き出しを持ち上げ、ストッパーの奥に下ろすようにして入れてください。
フルオープンレールタイプの場合、レールの上に引き出しを正しく載せ（カチャという音がします）、入れてください。
引き出して、ストッパーがかかることを確認してください。

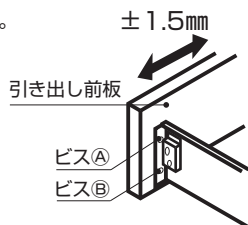


引き出しの調整方法

金属レール

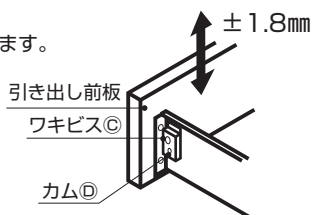
左右調整

- ①ビスA、Bを緩めます。
- ②前板の左右位置を調整します。
- ③ビスA、Bを締めます。



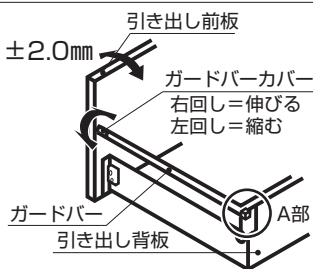
上下調整

- ①ワキビスCを緩めます。
- ②カムDを回して高さを調整します。
- ③ワキビスCを締めます。



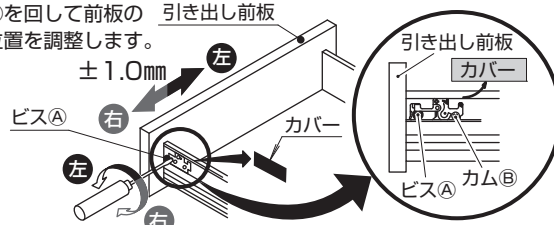
前後調整

- ガードバーカバーを回して傾きを調整します。
- ※ガードバーと背板を固定している部品(A部)が金属製の場合は、右図の方法で調整してください。

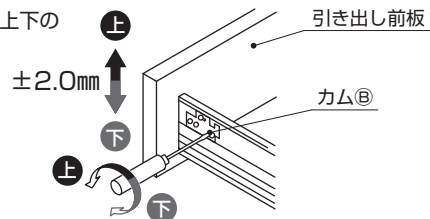


フルオープンレール

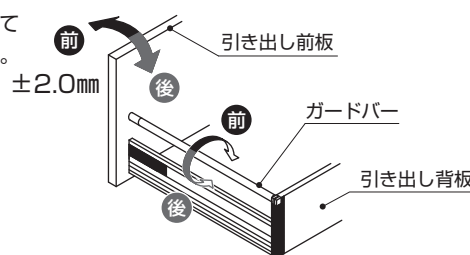
- ①カバーを外します。
- ②ビスAを回して前板の左右位置を調整します。



- カムBを回して前板の上下の位置を調整します。

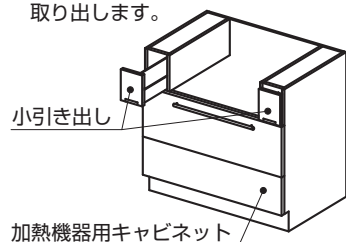


- ガードバーを回して傾きを調整します。

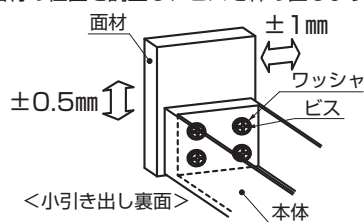


モバイルラック付き小引き出し面材の調整方法

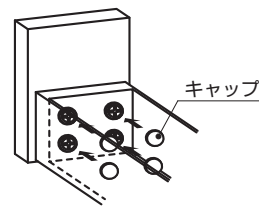
- ①キャビネットから小引き出しを取り出します。



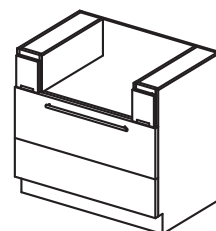
- ②小引き出し本体と面材を固定しているビスを緩め、面材の位置を調整し、ビスを締め直します。



- ③キャップを取り付けます。



- ④キャビネットに小引き出しを取り付けます。



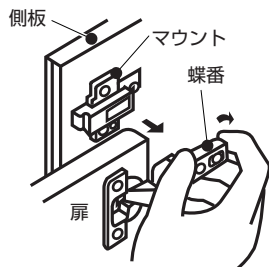
⚠ 注意

強く締め過ぎると本体が破損する恐れがあります。
電動ドライバーは使用しないでください。

扉の調整方法

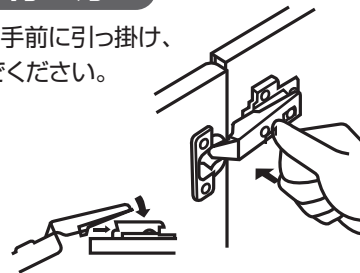
扉の外し方

扉をしっかり支えながら、側板、蝶番の後側のツメを引いてください。扉が外れます。



扉の取り付け方

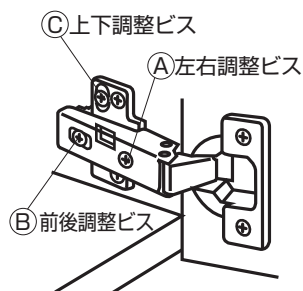
蝶番をマウントの手前に引っ掛け、後側を押し込んでください。



扉の調整

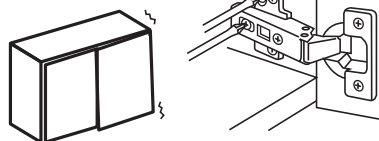
扉に段違いが生じたり、ガタついたら、図の要領で調整してください。 ※ ① ② ③ 以外は固定ビスになります。

標準蝶番



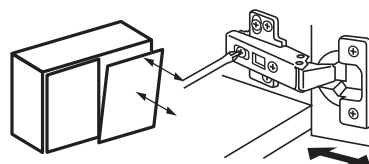
ガタついている…

②・③を固く締め付けます。緩めて前後調整をし、締めなおします。また、① ② ③以外の固定ビスもしっかり固定してください。

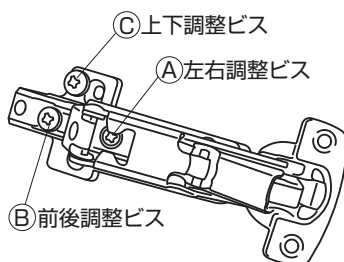


しっかり閉まらない… (前後調整)

扉を取り付けた後 ② を緩めて前後調整をし、締めなおします。



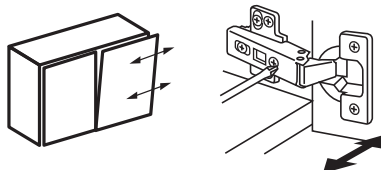
コーナー蝶番



調整しづらい場合は、一度扉を外して調整し再度取り付けてください。

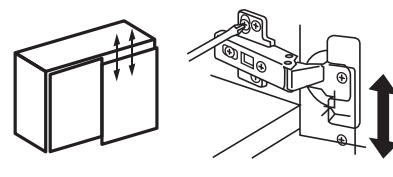
目地が揃っていない… (左右調整)

③の固定ビスを締めたまま ①を回して左右調整をします。



上下が揃っていない… (上下調整)

③を緩めて扉ごと上下調整したあと、締めなおします。

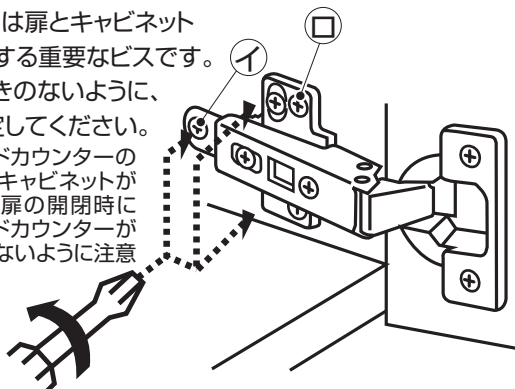


調整上のお願

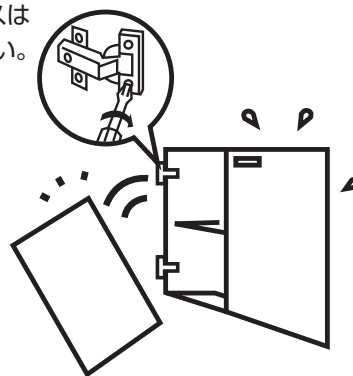
！ 注意

ビス①・②は扉とキャビネット本体を固定する重要なビスです。扉のガタつきのないように、しっかり固定してください。

※ カップボードカウンターの隣にツールキャビネットがある場合は扉の開閉時にカップボードカウンターが扉に接触しないように注意ください。



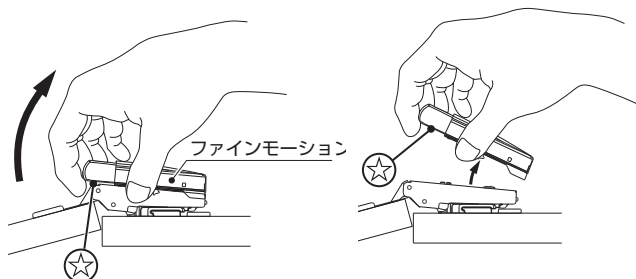
上記 ① ② ③ 以外のビスは絶対に緩めないでください。緩めるとビスの保持力がなくなり、扉が落下してケガをする恐れがあります。



調整方法（ファインモーション付き蝶番）

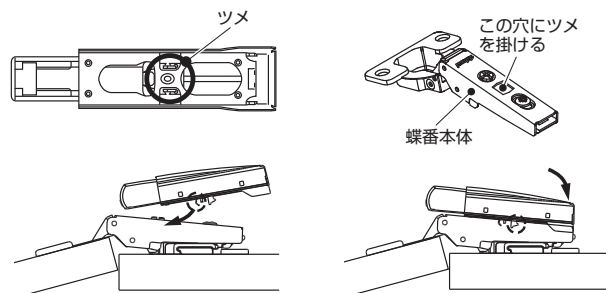
ファインモーション機構部の外し方

☆の部分に指を掛けて、上に持ち上げると外れます。



ファインモーション機構部の取り付け方

蝶番本体の穴にファインモーション機構部のツメを入れて、パチンとなるまで押し込んでください。



扉の外し方

P29の取外し方にしてください。

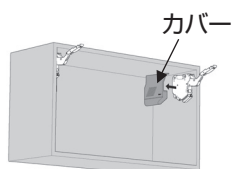
扉の取り付け方

P29の取り付け方にしてください。

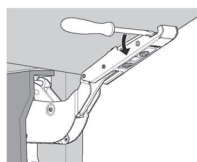
フラップアップ式ウォールキャビネット（オプション）の調整方法

! この作業が必要なときは、必ず取り付け業者さんに依頼してください。
無理に作業すると、落下・破損・ケガの恐れがあり危険です。

扉の取り外し方法



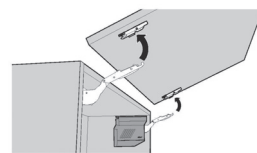
カバーを外します。



ドライバーをアーム先端に差し込み、扉の座金から外す。

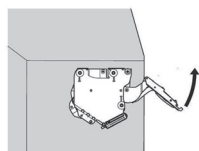
⚠ 注意

⊘ トライバーで扉に傷がつかないようにしてください。

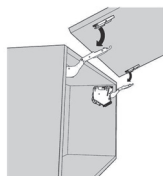


扉を外します。

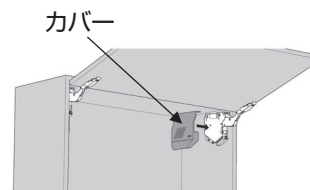
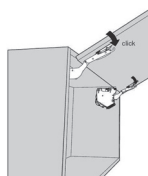
扉の取り付け方法



レバーを注意して
ゆっくり持ち上げる。

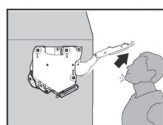


扉裏の座金にクリップオン。
カチャという音を確認してください。



矢印の方向へ押してください。

⚠ 注意



アームが跳ね上がってケガをする
可能性があります。
扉を付けていない場合には絶対に
アームを押し下げないでください。



アームが上がった状態では絶対に
下に押さないでください。



扉の落下に注意する。

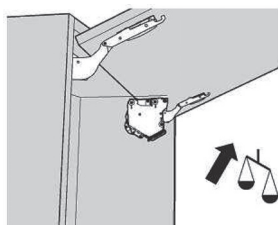
作業中絶対に扉を落下させないようにしてください。
作業終了後、必ず扉を5回以上開閉し、がたつきや
ビスの緩みがないことを確認してください。

フラップアップ式ウォールキャビネット (オプション) の調整方法

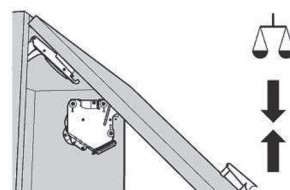
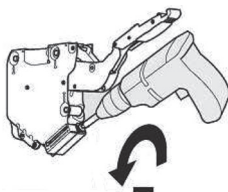
バネの調整

扉を開けて扉が自然と上がったり、下がったりする場合には電動ドライバーでバネの力を調整してください。

●バネ力の調整：扉が上がる時

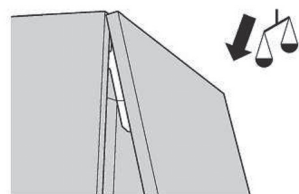


電動ドライバーで左へ回してください。

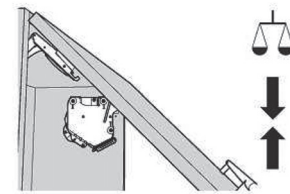
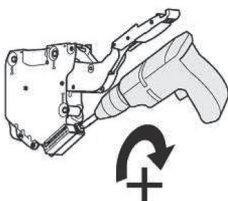


扉のバランスが取れるようにしてください。

●バネ力の調整：扉が下がる時

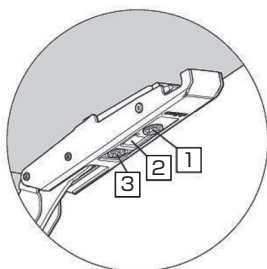
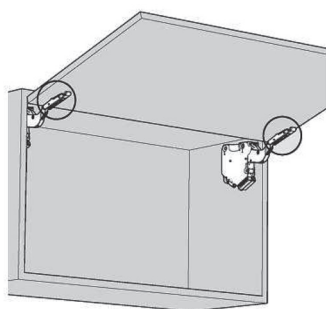


電動ドライバーで右へ回してください。

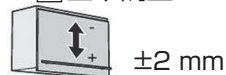


扉のバランスが取れるようにしてください。

扉の調整

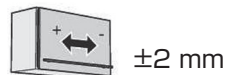


① 上下調整



±2 mm

② 左右調整



±2 mm

③ 前後調整



±2 mm

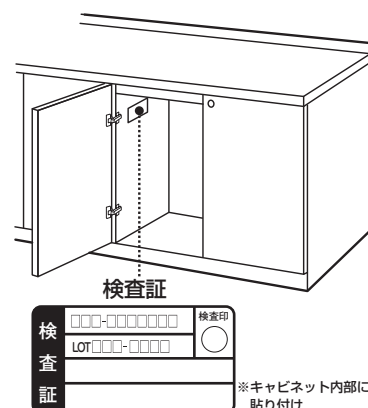
プラスドライバーで上下・左右・前後の調整ができます。

14 こんなときには？！

ガスや水道の元栓が閉まっていると、設備機器の故障と間違えることがあります。修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
お湯の出が悪い	● 止水栓が締められている。 ● 吐水口に水あかがたまっている。 ● 水圧が低い。 ※不明な名称については水栓金具の説明書をご覧ください。	● 止水栓を全開にしてください。 ● 吐水口を掃除してください。 ● 止水栓で調整してください。
水漏れがする	● 止水栓の締め付け不足。 ● 止水栓のパッキン不良。 ● 水栓金具の取り付けナットの緩み。 ● ゴミ収納器の締め付け不良。 ※不明な名称については水栓金具の説明書をご覧ください。	● 十分に締めてください。 ● パッキンを交換してください。 ● 取り付けナットを締めてください。 ● 十分に締めてください。
下水の臭いがする	● 排水トラップの封水不良。	● 排水トラップ部を点検してください。
ガスが点火しない	● 電池の消耗。 ● 元栓が閉まっている。 ● 点火プラグが汚れている。 ※不明な名称についてはガス機器の説明書をご覧ください。	● 電池を交換してください。 ● 元栓を開けてください。 ● 点火プラグを掃除してください。
IHが作動しない	● キーを押してもヒーターが入らない。 ● ヒーターが点滅後、消灯する。	● 電源を入れてください。 ● 鍋をヒーターの中央に置いてください。
蛍光灯が暗くなった	● 蛍光灯の寿命が切れかかっている。	● 蛍光灯を交換してください。
蛍光灯が点滅し始めた	● 蛍光灯の寿命が切れかかっている。	● 蛍光灯を交換してください。
蛍光灯が点灯しない	● 蛍光灯の寿命が切れている。 ● 蛍光灯がソケットにしっかり入っていない。	● 蛍光灯を交換してください。 ● 蛍光灯をソケットにしっかり入れてください。
扉がガタつく	● 蝶番のビスが緩んでいる。 ● 蝶番のビスが空回りをする。	● ビスを締めなおしてください。(29ページ参照) 強く締めすぎないようにしてください。 ● ビス穴へマッチ棒やつま楊枝を接着剤と共に埋め、再度ビスを締めてください。
扉がギーギーと鳴る	● 潤滑油不足。	● 蝶番の軸へミシン油を差してください。差し過ぎると他のトラブルとなりますのでご注意ください。
扉が下がる	● ビスが緩んでいる。	● 蝶番マウントの上下調整ビスで再調整し、ビスを締めなおしてください。(29ページ参照) 強く締めすぎないようにしてください。
ロック機構の動作が悪い(引っかかる)	● ロック機構本体のラッチが下がっている。	● 扉の蝶番マウントの上下調整ビスで再調整し、ビスを締めなおしてください。(29ページ参照) ● ロック機構の本体と受けの位置を調整し、ビスを締めなおしてください。強く締めすぎないようにしてください。(23ページ参照)

- 異常が発生した場合の使用はやめてください。「こんなときには?!」を見て、もう一度ご確認ください。それでも不都合な場合は被害拡大しないよう、水栓金具・食器洗い乾燥機の場合は止水栓、ガス機器の場合は元栓、電気機器の場合は電源を OFF にしてからアフターサービスを依頼してください。
- アフターサービスを依頼される場合や、不明な点のご相談は、右図のラベルを確認のうえ、まず、販売会社・管理会社もしくはお求めの工務店・販売店へお問合せください。
- 相談先が不明の場合は、弊社お客様相談センターへお問合せください。



お客様相談センター

フリーダイヤル



0120-685-110

受付時間 平日 9:00~18:00、土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始

- 加熱機器、食器洗い乾燥機、水栓金具の修理は本体もしくは、取扱説明書に表示している「フリーダイヤル」をご利用ください。

ご連絡していただきたい内容

品 名	システムキッチン
型 名	
販 売 店 様 名	
引 き 渡 し 日	年 月 日
故 障 の 状 況	
ご 住 所	
お 名 前	
電 話 番 号	
訪 問 希 望 日	

※おことわり

- 製品の仕様や掲載内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- 扉など天然の材料を使用しているものについては、同色・同柄の同一部材を供給することができませんので、その節にはご容赦願います。
- 保証内容、期間については、裏表紙に記載されている保証書をご確認ください。

オプション品・交換部品など

オプション品・交換部品はお買い上げ販売店にお問い合わせください。
また、弊社のウェブ販売サイト「永大産業 web shop」でもお買い求めいただけます。

<http://www.rakuten.ne.jp/gold/eidai-web/>

※おことわり

取り付け、交換の際に特別な資格や技能が必要なものや安全にかかわるものは取り扱っておりません。

<オプション品・交換部品の一例>

排水プレート



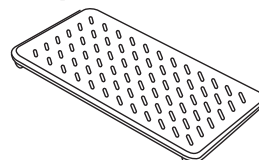
シンク・ゴミかご



止水フタ



水切りプレート



保証書

保証書	
品 名	品 番
★お客様のお名前	
様	
★ご住所 〒	★電話番号 () -
保証期間 ※引き渡し日 年 月 日から 2年間 (ただし、組み込み機器は別途添付されている保証書によります。)	取り扱い販売店名、住所、電話番号
★印、※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。	
記	
この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 引き渡し日から上記保証期間中に、対象製品において取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの注意内容に従い、使用及び維持管理を行っていた状態で自然不具合が発生した場合、本書記載内容にもとづき、無料修理いたしますので、お取り扱いの施工店または販売店に修理をご依頼ください。また修理に際して本書をご提示ください。 ●保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。 1. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合 2. 車両・船舶、業務用、病院や施設など、一般住宅以外に使用した場合の不具合 3. 当社が定める取付説明書等に基づかない取り付け、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合 4. 使用上の不注意・故意・過失または不当な修理や改造による不具合 5. 使用者または第三者の不適切な使用または維持管理に起因する不具合 6. 建築躯体、関連設備工事など製品以外の不具合に起因する不具合 7. 経年変化または使用に伴う磨耗、さび、かび、変質、変色、反りなどの不具合 8. 消耗部品（電球やパッキンやシーリングなど）の取り替え及び保守 9. 指定外の消耗品の設置または使用に起因する故障及び損傷 10. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合 11. 漏水、結露等による長時間高湿度状態で放置された場合などの室内環境や自然現象に起因する不具合 12. 犬、猫、鳥、鼠などの小動物や昆虫などの行為に起因する不具合 13. 納入後、1年以上経過した場合の虫害 14. 火災・爆発などの事故、落雷・凍結・地震・噴火・洪水・津波などの天災地変及び公害、塩害、ガス害、異状電圧、使用電源（電圧、周波数）などによる不具合 15. 修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、不具合の存在を確認できなかった場合 16. 部品交換を伴わない調整、その他手直し修理、保守、点検、検査、作業 17. 製造時に実用化されていた技術では予測不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合 18. メーカーがリコール宣言を行った後の、リコール部品及びリコール部位に起因する本製品の故障及び損害 19. 取り付け完了時に申し出がなかったキズなどの不具合 20. 取り付け後の移設等に起因する故障及び損傷 21. 砂やごみかみによる不具合及びパッキン・シーリング等消耗品の損傷 22. 戦争、暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合 23. 国または公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷 24. その他、当該不具合の発生が当社の責によらない場合 ●離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。 ●ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。 ●本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan ●本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。 ●キッチンに組み込まれる設備機器などについては、それぞれに添付されている保証書の内容をご確認ください。 ●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げいただいた販売店もしくは、弊社お客様相談センターにお問い合わせください。	

永大産業株式会社
<http://www.eidai.com>

住設事業部

お客様相談センター

 **0120-685-110**

受付時間 **平日** 9:00~18:00 **土曜日** 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始